

0001検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なものはどれか。
「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」

ア．主訴を患者の言葉から把握

イ．検査結果に影響する条件を記録

ウ．検査信頼性情報を記録

エ．経時データ比較の条件

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「主訴を患者の言葉から把握」の要点を示している。初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。

イ：「検査結果に影響する条件を記録」は別の論点である。主な要点は「視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「検査信頼性情報を記録」は別の論点である。主な要点は「検査値の解釈には測定品質が重要であり、信頼性低下要因を残す必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「経時データ比較の条件」は別の論点である。主な要点は「測定条件をそろえることで、患者の変化と条件差による変動を区別しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0002検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なものはどれか。
「複視の発症様式や方向性、単眼性・両眼性の鑑別は病態推定に重要である。」

ア．診療録の客観性

イ．現病歴を時系列で整理

ウ．検査結果に影響する条件を記録

エ．患者識別を安全に行える

答え・解説 正答：イ

ア：「診療録の客観性」は別の論点である。主な要点は「記録は事実、患者の主観、評価を分けて残すと情報共有の精度が高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「現病歴を時系列で整理」の要点を示している。複視の発症様式や方向性、単眼性・両眼性の鑑別は病態推定に重要である。

ウ：「検査結果に影響する条件を記録」は別の論点である。主な要点は「視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「患者識別を安全に行える」は別の論点である。主な要点は「誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0003検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：標準

「医療面接・診療録・検査データ管理」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「点眼薬・全身薬はいずれも視機能や検査結果、安全性に影響し得る。」

ア．検査結果に影響する条件を記録
イ．患者識別を安全に行える
ウ．主訴を患者の言葉から把握
エ．薬剤歴の重要性

0004検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「左右眼、裸眼か矯正下か、視距離、使用視標、得られた視力を明記する。視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。」

ア．薬剤歴の重要性
イ．データ修正時の原則
ウ．検査結果に影響する条件を記録
エ．主訴を患者の言葉から把握

答え・解説 正答：エ

ア：「検査結果に影響する条件を記録」は別の論点である。主な要点は「視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「患者識別を安全に行える」は別の論点である。主な要点は「誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「主訴を患者の言葉から把握」は別の論点である。主な要点は「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「薬剤歴の重要性」の要点を示している。点眼薬・全身薬はいずれも視機能や検査結果、安全性に影響し得る。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「薬剤歴の重要性」は別の論点である。主な要点は「点眼薬・全身薬はいずれも視機能や検査結果、安全性に影響し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「データ修正時の原則」は別の論点である。主な要点は「医療記録の訂正は経過を追跡可能にし、無断の上書きや消去を避けることが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「検査結果に影響する条件を記録」の要点を示している。左右眼、裸眼か矯正下か、視距離、使用視標、得られた視力を明記する。視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。

エ：「主訴を患者の言葉から把握」は別の論点である。主な要点は「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0005 検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「検査値の解釈には測定品質が重要であり、信頼性低下要因を残す必要がある。」

ア．検査信頼性情報を記録
イ．経時データ比較の条件
ウ．データ修正時の原則
エ．主訴を患者の言葉から把握

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「検査信頼性情報を記録」の要点を示している。検査値の解釈には測定品質が重要であり、信頼性低下要因を残す必要がある。
イ：「経時データ比較の条件」は別の論点である。主な要点は「測定条件をそろえることで、患者の変化と条件差による変動を区別しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「データ修正時の原則」は別の論点である。主な要点は「医療記録の訂正は経過を追跡可能にし、無断の上書きや消去を避けることが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「主訴を患者の言葉から把握」は別の論点である。主な要点は「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0006 検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「記録は事実、患者の主観、評価を分けて残すと情報共有の精度が高まる。」

ア．診療録の客観性
イ．現病歴を時系列で整理
ウ．患者識別を安全に行える
エ．主訴を患者の言葉から把握

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「診療録の客観性」の要点を示している。記録は事実、患者の主観、評価を分けて残すと情報共有の精度が高まる。
イ：「現病歴を時系列で整理」は別の論点である。主な要点は「複視の発症様式や方向性、単眼性・両眼性の鑑別は病態推定に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「患者識別を安全に行える」は別の論点である。主な要点は「誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「主訴を患者の言葉から把握」は別の論点である。主な要点は「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0007 検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。」

ア．データ修正時の原則

イ．診療録の客観性

ウ．患者識別を安全に行える

エ．経時データ比較の条件

答え・解説 正答：ウ

ア：「データ修正時の原則」は別の論点である。主な要点は「医療記録の訂正は経過を追跡可能にし、無断の上書きや消去を避けることが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「診療録の客観性」は別の論点である。主な要点は「記録は事実、患者の主観、評価を分けて残すと情報共有の精度が高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「患者識別を安全に行える」の要点を示している。誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。

エ：「経時データ比較の条件」は別の論点である。主な要点は「測定条件をそろえることで、患者の変化と条件差による変動を区別しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0008 検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「できるだけ同じ視標・距離、照明、矯正条件、採点法で測定する。測定条件をそろえることで、患者の変化と条件差による変動を区別しやすくなる。」

ア．検査信頼性情報を記録

イ．患者識別を安全に行える

ウ．経時データ比較の条件

エ．主訴を患者の言葉から把握

答え・解説 正答：ウ

ア：「検査信頼性情報を記録」は別の論点である。主な要点は「検査値の解釈には測定品質が重要であり、信頼性低下要因を残す必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「患者識別を安全に行える」は別の論点である。主な要点は「誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「経時データ比較の条件」の要点を示している。できるだけ同じ視標、距離、照明、矯正条件、採点法で測定する。測定条件をそろえることで、患者の変化と条件差による変動を区別しやすくなる。

エ：「主訴を患者の言葉から把握」は別の論点である。主な要点は「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0009 検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「新規の重要所見は記録し、診断・対応へつなげるため適時に医師へ共有する。」

ア．検査結果に影響する条件を記録

イ．主訴を患者の言葉から把握

ウ．異常所見の報告を適切に行える

エ．経時データ比較の条件

0010 検査総論・視力・屈折 > 医療面接・診療録・検査データ管理 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「医療記録の訂正は経過を追跡可能にし、無断の上書きや消去を避けることが重要である。」

ア．検査結果に影響する条件を記録

イ．検査信頼性情報を記録

ウ．データ修正時の原則

エ．患者識別を安全に行える

答え・解説 正答：ウ

ア：「検査結果に影響する条件を記録」は別の論点である。主な要点は「視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「主訴を患者の言葉から把握」は別の論点である。主な要点は「初めに開かれた質問を用いると、患者が主訴や困りごとを自分の言葉で表現しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「異常所見の報告を適切に行える」の要点を示している。新規の重要所見は記録し、診断・対応へつなげるため適時に医師へ共有する。

エ：「経時データ比較の条件」は別の論点である。主な要点は「測定条件をそろえることで、患者の変化と条件差による変動を区別しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「検査結果に影響する条件を記録」は別の論点である。主な要点は「視力値は条件依存性があるため、測定条件と左右眼を併記すると経時比較しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「検査信頼性情報を記録」は別の論点である。主な要点は「検査値の解釈には測定品質が重要であり、信頼性低下要因を残す必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「データ修正時の原則」の要点を示している。医療記録の訂正は経過を追跡可能にし、無断の上書きや消去を避けることが重要である。

エ：「患者識別を安全に行える」は別の論点である。主な要点は「誤認防止には単一情報ではなく複数識別子で照合することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「医療面接・診療録・検査データ管理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0011検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：標準

「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「高コントラスト視力は主に細部の識別能力、すなわち空間分解能を評価する。」

ア．視力の意味
イ．logMAR尺度を理解
ウ．コントラスト感度
エ．letter-by-letter scoringの利点

0012検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「視力は改善した。logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。」

ア．ピンホール試験の意味
イ．視力の意味
ウ．視距離変更の影響
エ．logMAR尺度を理解

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「視力の意味」の要点を示している。高コントラスト視力は主に細部の識別能力、すなわち空間分解能を評価する。
イ：「logMAR尺度を理解」は別の論点である。主な要点は「logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「コントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「コントラスト感度は低コントラスト情報を検出する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「letter-by-letter scoringの利点」は別の論点である。主な要点は「letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「ピンホール試験の意味」は別の論点である。主な要点は「ピンホールは周辺光線を制限して焦点深度を増やし、屈折性ばけを軽減する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「視力の意味」は別の論点である。主な要点は「高コントラスト視力は主に細部の識別能力、すなわち空間分解能を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「視距離変更の影響」は別の論点である。主な要点は「視標の視角は距離で変化するため、距離変更時は記録・換算が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「logMAR尺度を理解」の要点を示している。視力は改善した。logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0013検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「logMARは小さいほど良好な視力を示すため、0.5から0.2は改善である。」

ア．logMARの改善方向
イ．視力測定条件を標準化
ウ．コントラスト感度
エ．視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる

0014検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「logMARチャートは各行の課題難度を標準化し、文字サイズを対数的に変化させる。」

ア．視力測定条件を標準化
イ．logMAR尺度を理解
ウ．ETDRSチャートの特徴
エ．視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「logMARの改善方向」の要点を示している。logMARは小さいほど良好な視力を示すため、0.5から0.2は改善である。
イ：「視力測定条件を標準化」は別の論点である。主な要点は「視力は測定条件で変動するため標準化が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「コントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「コントラスト感度は低コントラスト情報を検出する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「低コントラスト環境での見えにくさは通常視力表では捉えにくく、コントラスト感度評価が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「視力測定条件を標準化」は別の論点である。主な要点は「視力は測定条件で変動するため標準化が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「logMAR尺度を理解」は別の論点である。主な要点は「logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「ETDRSチャートの特徴」の要点を示している。logMARチャートは各行の課題難度を標準化し、文字サイズを対数的に変化させる。
エ：「視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「低コントラスト環境での見えにくさは通常視力表では捉えにくく、コントラスト感度評価が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0015検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。」

ア．コントラスト感度
イ．letter-by-letter scoringの利点
ウ．視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる
エ．視力測定条件を標準化

0016検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「使用した視距離を記録し、視力値を距離に応じて換算する。視標の視角は距離で変化するため、距離変更時は記録・換算が必要である。」

ア．logMAR尺度を理解
イ．コントラスト感度
ウ．letter-by-letter scoringの利点
エ．視距離変更の影響

答え・解説 正答：イ

ア：「コントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「コントラスト感度は低コントラスト情報を検出する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「letter-by-letter scoringの利点」の要点を示している。letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。
ウ：「視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「低コントラスト環境での見えにくさは通常視力表では捉えにくく、コントラスト感度評価が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「視力測定条件を標準化」は別の論点である。主な要点は「視力は測定条件で変動するため標準化が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「logMAR尺度を理解」は別の論点である。主な要点は「logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「コントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「コントラスト感度は低コントラスト情報を検出する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「letter-by-letter scoringの利点」は別の論点である。主な要点は「letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「視距離変更の影響」の要点を示している。使用した視距離を記録し、視力値を距離に応じて換算する。視標の視角は距離で変化するため、距離変更時は記録・換算が必要である。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0017検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「ピンホールは周辺光線を制限して焦点深度を増やし、屈折性ばけを軽減する。」

ア．logMAR尺度を理解
イ．ピンホール試験の意味
ウ．視力測定条件を標準化
エ．letter-by-letter scoringの利点

0018検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「コントラスト感度は低コントラスト情報を検出する能力を評価する。」

ア．コントラスト感度
イ．letter-by-letter scoringの利点
ウ．logMARの改善方向
エ．視距離変更の影響

答え・解説 正答：イ

ア：「logMAR尺度を理解」は別の論点である。主な要点は「logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「ピンホール試験の意味」の要点を示している。ピンホールは周辺光線を制限して焦点深度を増やし、屈折性ばけを軽減する。
ウ：「視力測定条件を標準化」は別の論点である。主な要点は「視力は測定条件で変動するため標準化が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「letter-by-letter scoringの利点」は別の論点である。主な要点は「letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「コントラスト感度」の要点を示している。コントラスト感度は低コントラスト情報を検出する能力を評価する。
イ：「letter-by-letter scoringの利点」は別の論点である。主な要点は「letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「logMARの改善方向」は別の論点である。主な要点は「logMARは小さいほど良好な視力を示すため、0.5から0.2は改善である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「視距離変更の影響」は別の論点である。主な要点は「視標の視角は距離で変化するため、距離変更時は記録・換算が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0019

検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：標準

「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「低コントラスト環境での見えにくさは通常視力表では捉えにくく、コントラスト感度評価が有用である。」
ア．letter-by-letter scoringの利点
イ．logMARの改善方向
ウ．視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる
エ．logMAR尺度を理解

答え・解説

正答：ウ

ア：「letter-by-letter scoringの利点」は別の論点である。主な要点は「letter-by-letter scoringは小さな視力変化を捉えやすく、再検査変動も小さくできる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「logMARの改善方向」は別の論点である。主な要点は「logMARは小さいほど良好な視力を示すため、0.5から0.2は改善である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「視力とコントラスト感度の違いを生活場面へ結びつけられる」の要点を示している。低コントラスト環境での見えにくさは通常視力表では捉えにくく、コントラスト感度評価が有用である。
エ：「logMAR尺度を理解」は別の論点である。主な要点は「logMARは最小分離角の対数で、0に近いほど良好、正の値が大きいほど視力が低い。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0020

検査総論・視力・屈折 > 視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「視標輝度、視距離、矯正条件、採点法をできるだけ一定にする。視力は測定条件で変動するため標準化が重要である。」
ア．視力測定条件を標準化
イ．ETDRSチャートの特徴
ウ．ピンホール試験の意味
エ．logMARの改善方向

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視力測定条件を標準化」の要点を示している。視標輝度、視距離、矯正条件、採点法をできるだけ一定にする。視力は測定条件で変動するため標準化が重要である。
イ：「ETDRSチャートの特徴」は別の論点である。主な要点は「logMARチャートは各行の課題難度を標準化し、文字サイズを対数的に変化させる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「ピンホール試験の意味」は別の論点である。主な要点は「ピンホールは周辺光線を制限して焦点深度を増やし、屈折性ばけを軽減する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「logMARの改善方向」は別の論点である。主な要点は「logMARは小さいほど良好な視力を示すため、0.5から0.2は改善である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視力検査・logMAR・ETDRS・コントラスト」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0021検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「検影法や自動屈折計は患者の主観回答を必要としない他覚検査である。」

ア．作業距離補正
イ．他覚屈折と自覚屈折
ウ．foggingの目的
エ．二色テストの解釈が

答え・解説 正答：イ

ア：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「他覚屈折と自覚屈折」の要点を示している。検影法や自動屈折計は患者の主観回答を必要としない他覚検査である。
ウ：「foggingの目的」は別の論点である。主な要点は「プラスレンズを加えて一時的にぼかし、調節を弛緩させてから最良球面度数へ近づける。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「二色テストの解釈が」は別の論点である。主な要点は「二色テストでは緑が明瞭ならプラスを加え、赤が明瞭ならマイナスを加えて球面度数を微調整する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0022検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「適切なレンズを加えると患者眼の遠点が検者位置に一致し、反射のwith/against movementが消える。」

ア．作業距離補正
イ．検影法の中和を理解
ウ．JCCによる乱視軸精密化
エ．JCCによる円柱度数精密化

答え・解説 正答：イ

ア：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「検影法の中和を理解」の要点を示している。適切なレンズを加えると患者眼の遠点が検者位置に一致し、反射のwith/against movementが消える。
ウ：「JCCによる乱視軸精密化」は別の論点である。主な要点は「軸精密化ではJCC主経線が矯正軸の両側に45°ずつ位置するよう、柄を軸に合わせる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「JCCによる円柱度数精密化」は別の論点である。主な要点は「度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせて比較する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0023 検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」

ア．他覚屈折と自覚屈折

イ．検影法の中和を理解

ウ．自動屈折計の限界

エ．作業距離補正

0024 検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「調節の影響で近視側へ測定されることがあり、必要に応じ検影法や調節麻痺下屈折と統合する。若年者では器械近視や調節介入が起こり得るため、自動屈折値だけで最終処方を決めない。」

ア．作業距離補正

イ．自動屈折計の限界

ウ．JCCによる円柱度数精密化

エ．JCCによる乱視軸精密化

答え・解説 正答：エ

ア：「他覚屈折と自覚屈折」は別の論点である。主な要点は「検影法や自動屈折計は患者の主観回答を必要としない他覚検査である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「検影法の中和を理解」は別の論点である。主な要点は「適切なレンズを加えると患者眼の遠点が検者位置に一致し、反射のwith/against movementが消える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「自動屈折計の限界」は別の論点である。主な要点は「若年者では器械近視や調節介入が起こり得るため、自動屈折値だけで最終処方を決めない。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「作業距離補正」の要点を示している。検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「自動屈折計の限界」の要点を示している。調節の影響で近視側へ測定されることがあり、必要に応じ検影法や調節麻痺下屈折と統合する。若年者では器械近視や調節介入が起こり得るため、自動屈折値だけで最終処方を決めない。

ウ：「JCCによる円柱度数精密化」は別の論点である。主な要点は「度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせで比較する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「JCCによる乱視軸精密化」は別の論点である。主な要点は「軸精密化ではJCC主経線が矯正軸の両側に45°ずつ位置するよう、柄を軸に合わせる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0025 検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「プラスレンズを加えて一時的にぼかし、調節を弛緩させてから最良球面度数へ近づける。」

ア．foggingの目的

イ．作業距離補正

ウ．他覚屈折と自覚屈折

エ．屈折検査結果

0026 検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「軸精密化ではJCC主経線が矯正軸の両側に45°ずつ位置するよう、柄を軸に合わせる。」

ア．作業距離補正

イ．自覚屈折終点

ウ．JCCによる乱視軸精密化

エ．検影法の中和を理解

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「foggingの目的」の要点を示している。プラスレンズを加えて一時的にぼかし、調節を弛緩させてから最良球面度数へ近づける。

イ：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「他覚屈折と自覚屈折」は別の論点である。主な要点は「検影法や自動屈折計は患者の主観回答を必要としない他覚検査である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「屈折検査結果」は別の論点である。主な要点は「屈折値は手法ごとに差があり得るため、一つの数値だけでなく視力・症状・調節状態を統合する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「自覚屈折終点」は別の論点である。主な要点は「過剰マイナスを避けつつ最良視力を得るmaximum plus/least minus principleが基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「JCCによる乱視軸精密化」の要点を示している。軸精密化ではJCC主経線が矯正軸の両側に45°ずつ位置するよう、柄を軸に合わせる。

エ：「検影法の中和を理解」は別の論点である。主な要点は「適切なレンズを加えると患者眼の遠点が検者位置に一致し、反射のwith/against movementが消える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0027

検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：基礎

「他覚的・自覚的屈折検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせて比較する。」

ア．作業距離補正
イ．JCCによる円柱度数精密化
ウ．自覚屈折終点
エ．検影法の中和を理解

0028

検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「+0.25 Dずつプラスを加え、赤緑が近づくか確認する。二色テストでは緑が明瞭ならプラスを加え、赤が明瞭ならマイナスを加えて球面度数を微調整する。」

ア．自覚屈折終点
イ．JCCによる円柱度数精密化
ウ．JCCによる乱視軸精密化
エ．二色テストの解釈が

答え・解説

正答：イ

ア：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「JCCによる円柱度数精密化」の要点を示している。度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせて比較する。
ウ：「自覚屈折終点」は別の論点である。主な要点は「過剰マイナスを避けつつ最良視力を得るmaximum plus/least minus principleが基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「検影法の中和を理解」は別の論点である。主な要点は「適切なレンズを加えると患者眼の遠点が検者位置に一致し、反射のwith/against movementが消える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「自覚屈折終点」は別の論点である。主な要点は「過剰マイナスを避けつつ最良視力を得るmaximum plus/least minus principleが基本となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「JCCによる円柱度数精密化」は別の論点である。主な要点は「度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせて比較する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「JCCによる乱視軸精密化」は別の論点である。主な要点は「軸精密化ではJCC主経線が矯正軸の両側に45°ずつ位置するよう、柄を軸に合わせる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「二色テストの解釈が」の要点を示している。+0.25 Dずつプラスを加え、赤緑が近づくか確認する。二色テストでは緑が明瞭ならプラスを加え、赤が明瞭ならマイナスを加えて球面度数を微調整する。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0029 検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「過剰マイナスを避けつつ最良視力を得るmaximum plus/least minus principleが基本となる。」

ア．作業距離補正
イ．自覚屈折終点
ウ．JCCによる円柱度数精密化
エ．JCCによる乱視軸精密化

答え・解説 正答：イ

ア：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「自覚屈折終点」の要点を示している。過剰マイナスを避けつつ最良視力を得るmaximum plus/least minus principleが基本となる。
ウ：「JCCによる円柱度数精密化」は別の論点である。主な要点は「度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせて比較する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「JCCによる乱視軸精密化」は別の論点である。主な要点は「軸精密化ではJCC主経線が矯正軸の両側に45°ずつ位置するよう、柄を軸に合わせる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0030 検査総論・視力・屈折 > 他覚的・自覚的屈折検査 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「屈折値は手法ごとに差があり得るため、一つの数値だけでなく視力・症状・調節状態を統合する。」

ア．屈折検査結果
イ．作業距離補正
ウ．foggingの目的
エ．JCCによる円柱度数精密化

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「屈折検査結果」の要点を示している。屈折値は手法ごとに差があり得るため、一つの数値だけでなく視力・症状・調節状態を統合する。
イ：「作業距離補正」は別の論点である。主な要点は「検影のgross値から作業距離1.50 Dを差し引き、+3.00 - 1.50=+1.50 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「foggingの目的」は別の論点である。主な要点は「プラスレンズを加えて一時的にぼかし、調節を弛緩させてから最良球面度数へ近づける。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「JCCによる円柱度数精密化」は別の論点である。主な要点は「度数精密化ではJCCのプラス・マイナス主経線を矯正円柱軸に合わせて比較する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「他覚的・自覚的屈折検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0031

眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「レンズメータは眼鏡レンズの頂点屈折力、円柱軸、プリズム、光学中心などを確認する。」

ア．高度不同視でCLが有利な理由

イ．CL装用による角膜障害

ウ．レンズメータの測定項目

エ．ベースカーブと角膜形状の関係

0032

眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「不要なプリズム効果が生じる。レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」

ア．コンタクトレンズ上屈折

イ．眼鏡光学中心ずれの影響

ウ．高度不同視でCLが有利な理由

エ．CL装用による角膜障害

答え・解説

正答：ウ

ア：「高度不同視でCLが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「CL装用による角膜障害」は別の論点である。主な要点は「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「レンズメータの測定項目」の要点を示している。レンズメータは眼鏡レンズの頂点屈折力、円柱軸、プリズム、光学中心などを確認する。

エ：「ベースカーブと角膜形状の関係」は別の論点である。主な要点は「角膜曲率はレンズ後面形状との適合を判断する重要な基礎情報である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「コンタクトレンズ上屈折」は別の論点である。主な要点は「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「眼鏡光学中心ずれの影響」の要点を示している。不要なプリズム効果が生じる。レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。

ウ：「高度不同視でCLが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「CL装用による角膜障害」は別の論点である。主な要点は「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0033眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「特に高屈折度数ではレンズと眼の距離が変わると実効屈折力が変化する。」

ア．コンタクトレンズ上屈折

イ．頂点間距離の重要性

ウ．CL装用による角膜障害

エ．高度不同視でCLが有利な理由

答え・解説 正答：イ

ア：「コンタクトレンズ上屈折」は別の論点である。主な要点は「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「頂点間距離の重要性」の要点を示している。特に高屈折度数ではレンズと眼の距離が変わると実効屈折力が変化する。

ウ：「CL装用による角膜障害」は別の論点である。主な要点は「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「高度不同視でCLが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0034眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「新規眼鏡の不具合では、処方と実際のレンズが一致しているかを客観的に確認する。」

ア．コンタクトレンズ上屈折

イ．眼鏡処方の転記確認が

ウ．CL装用による角膜障害

エ．コンタクトレンズフィッティングの観察項目

答え・解説 正答：イ

ア：「コンタクトレンズ上屈折」は別の論点である。主な要点は「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「眼鏡処方の転記確認が」の要点を示している。新規眼鏡の不具合では、処方と実際のレンズが一致しているかを客観的に確認する。

ウ：「CL装用による角膜障害」は別の論点である。主な要点は「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「コンタクトレンズフィッティングの観察項目」は別の論点である。主な要点は「CLフィッティングではレンズ位置と動き、被覆、眼表面状態、視力などを総合評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0035

眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：基礎

「眼鏡・コンタクトレンズ検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「CLフィッティングではレンズ位置と動き、被覆、眼表面状態、視力などを総合評価する。」

ア．高度不同視でCLが有利な理由
イ．CL装用による角膜障害
ウ．眼鏡光学中心ずれの影響
エ．コンタクトレンズフィッティングの観察項目

答え・解説

正答：エ

ア：「高度不同視でCLが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「CL装用による角膜障害」は別の論点である。主な要点は「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「眼鏡光学中心ずれの影響」は別の論点である。主な要点は「レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「コンタクトレンズフィッティングの観察項目」の要点を示している。CLフィッティングではレンズ位置と動き、被覆、眼表面状態、視力などを総合評価する。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0036

眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「角膜曲率測定。角膜曲率はレンズ後面形状との適合を判断する重要な基礎情報である。」

ア．コンタクトレンズ上屈折
イ．高度不同視でCLが有利な理由
ウ．ベースカーブと角膜形状の関係
エ．眼鏡光学中心ずれの影響

答え・解説

正答：ウ

ア：「コンタクトレンズ上屈折」は別の論点である。主な要点は「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「高度不同視でCLが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「ベースカーブと角膜形状の関係」の要点を示している。角膜曲率測定。角膜曲率はレンズ後面形状との適合を判断する重要な基礎情報である。
エ：「眼鏡光学中心ずれの影響」は別の論点である。主な要点は「レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0037

眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「フルオレセインパターンによりレンズと角膜間のクリアランスや接触傾向を評価できる。」

ア．CL装用による角膜障害

イ．眼鏡光学中心ずれの影響

ウ．ベースカーブと角膜形状の関係

エ．RGPレンズのフルオレセインパターンを理解

0038

眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」

ア．眼鏡光学中心ずれの影響

イ．コンタクトレンズ上屈折

ウ．頂点間距離の重要性

エ．ベースカーブと角膜形状の関係

答え・解説

正答：エ

ア：「CL装用による角膜障害」は別の論点である。主な要点は「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「眼鏡光学中心ずれの影響」は別の論点である。主な要点は「レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ベースカーブと角膜形状の関係」は別の論点である。主な要点は「角膜曲率はレンズ後面形状との適合を判断する重要な基礎情報である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「RGPレンズのフルオレセインパターンを理解」の要点を示している。フルオレセインパターンによりレンズと角膜間のクリアランスや接触傾向を評価できる。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「眼鏡光学中心ずれの影響」は別の論点である。主な要点は「レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「コンタクトレンズ上屈折」の要点を示している。装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。

ウ：「頂点間距離の重要性」は別の論点である。主な要点は「特に高屈折度数ではレンズと眼の距離が変わると実効屈折力が変化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ベースカーブと角膜形状の関係」は別の論点である。主な要点は「角膜曲率はレンズ後面形状との適合を判断する重要な基礎情報である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0039 眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。」

ア．眼鏡光学中心ずれの影響
イ．コンタクトレンズ上屈折
ウ．頂点間距離の重要性
エ．CL装用による角膜障害

答え・解説 正答：エ

ア：「眼鏡光学中心ずれの影響」は別の論点である。主要点は「レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「コンタクトレンズ上屈折」は別の論点である。主要点は「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「頂点間距離の重要性」は別の論点である。主要点は「特に高屈折度数ではレンズと眼の距離が変わると実効屈折力が変化する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「CL装用による角膜障害」の要点を示している。疼痛・充血は角膜上皮障害や感染などの可能性があり、装用継続より眼表面評価を優先する。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0040 眼鏡・調節・色覚 > 眼鏡・コンタクトレンズ検査 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「左右眼の像倍率差を小さくしやすい。CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。」

ア．眼鏡光学中心ずれの影響
イ．高度不同視でCLが有利な理由
ウ．コンタクトレンズ上屈折
エ．コンタクトレンズフィッティングの観察項目

答え・解説 正答：イ

ア：「眼鏡光学中心ずれの影響」は別の論点である。主要点は「レンズを光学中心から偏心して見るとPrenticeの法則に従いプリズム効果が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「高度不同視でCLが有利な理由」の要点を示している。左右眼の像倍率差を小さくしやすい。CLは角膜近くに位置するため、眼鏡よりスペクトルマグニフィケーション差を抑えやすい。
ウ：「コンタクトレンズ上屈折」は別の論点である。主要点は「装用レンズの上から屈折検査を行い、残余屈折異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「コンタクトレンズフィッティングの観察項目」は別の論点である。主要点は「CLフィッティングではレンズ位置と動き、被覆、眼表面状態、視力などを総合評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0041眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」

ア．調節力
イ．中心固視
ウ．NPCとNPA
エ．動的検影で調節lag

答え・解説 正答：イ

ア：「調節力」は別の論点である。主な要点は「近点距離0.20 mの逆数で、 $1/0.20=5$ Dである。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「中心固視」の要点を示している。中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。
ウ：「NPCとNPA」は別の論点である。主な要点は「NPCは両眼単一視を維持できる最も近い点を評価し、複視や片眼の外方偏位が終点となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「動的検影で調節lag」は別の論点である。主な要点は「近見刺激に必要な量より実際の調節反応が少ない状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0042眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。」

ア．調節力
イ．動的検影で調節lag
ウ．偏心固視
エ．NPCとNPA

答え・解説 正答：ウ

ア：「調節力」は別の論点である。主な要点は「近点距離0.20 mの逆数で、 $1/0.20=5$ Dである。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「動的検影で調節lag」は別の論点である。主な要点は「近見刺激に必要な量より実際の調節反応が少ない状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「偏心固視」の要点を示している。弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。
エ：「NPCとNPA」は別の論点である。主な要点は「NPCは両眼単一視を維持できる最も近い点を評価し、複視や片眼の外方偏位が終点となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0043眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：標準

「固視・調節検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「他眼の影響を除き、評価眼がどの網膜部位を固視に使うかを確認する。」

ア．調節力
イ．NPCとNPA
ウ．固視検査で片眼遮閉を行う理由
エ．plus/minus flipperの解釈が

答え・解説 正答：ウ

ア：「調節力」は別の論点である。主要点は「近点距離0.20 mの逆数で、 $1/0.20=5$ Dである。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「NPCとNPA」は別の論点である。主要点は「NPCは両眼単一視を維持できる最も近い点を評価し、複視や片眼の外方偏位が終点となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「固視検査で片眼遮閉を行う理由」の要点を示している。他眼の影響を除き、評価眼がどの網膜部位を固視に使うかを確認する。
エ：「plus/minus flipperの解釈が」は別の論点である。主要点は「マイナスレンズは調節要求を増やすため、これをclearしにくい場合は調節刺激への反応低下を疑う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0044眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「近点距離0.20 mの逆数で、 $1/0.20=5$ Dである。」

ア．中心固視
イ．偏心固視
ウ．調節力
エ．固視検査で片眼遮閉を行う理由

答え・解説 正答：ウ

ア：「中心固視」は別の論点である。主要点は「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「偏心固視」は別の論点である。主要点は「弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「調節力」の要点を示している。近点距離0.20 mの逆数で、 $1/0.20=5$ Dである。
エ：「固視検査で片眼遮閉を行う理由」は別の論点である。主要点は「他眼の影響を除き、評価眼がどの網膜部位を固視に使うかを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0045眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「視標を徐々に近づけ、明視を維持できなくなった近点から調節力を推定する。」

ア．調節力
イ．動的検影で調節lag
ウ．偏心固視
エ．push-up法

答え・解説 正答：エ

ア：「調節力」は別の論点である。主要点は「近点距離0.20 mの逆数で、1/0.20=5 Dである。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「動的検影で調節lag」は別の論点である。主要点は「近見刺激に必要な量より実際の調節反応が少ない状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「偏心固視」は別の論点である。主要点は「弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「push-up法」の要点を示している。視標を徐々に近づけ、明視を維持できなくなった近点から調節力を推定する。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0046眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「NPCは両眼単一視を維持できる最も近い点を評価し、複視や片眼の外方偏位が終点となる。」

ア．中心固視
イ．NPCとNPA
ウ．固視検査で片眼遮閉を行う理由
エ．調節力

答え・解説 正答：イ

ア：「中心固視」は別の論点である。主要点は「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「NPCとNPA」の要点を示している。NPCは両眼単一視を維持できる最も近い点を評価し、複視や片眼の外方偏位が終点となる。
ウ：「固視検査で片眼遮閉を行う理由」は別の論点である。主要点は「他眼の影響を除き、評価眼がどの網膜部位を固視に使うかを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「調節力」は別の論点である。主要点は「近点距離0.20 mの逆数で、1/0.20=5 Dである。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0047眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「プラス・マイナスレンズを交互に提示し、一定時間内に明視へ切り替えられる回数を測る。」

ア．調節facility

イ．偏心固視

ウ．push-up法

エ．中心固視

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「調節facility」の要点を示している。プラス・マイナスレンズを交互に提示し、一定時間内に明視へ切り替えられる回数を測る。
イ：「偏心固視」は別の論点である。主な要点は「弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「push-up法」は別の論点である。主な要点は「視標を徐々に近づけ、明視を維持できなくなった近点から調節力を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「中心固視」は別の論点である。主な要点は「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0048眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「調節を増加させる能力が低下している可能性。マイナスレンズは調節要求を増やすため、これをclearしにくい場合は調節刺激への反応低下を疑う。」

ア．plus/minus flipperの解釈が

イ．調節力

ウ．固視検査で片眼遮閉を行う理由

エ．中心固視

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「plus/minus flipperの解釈が」の要点を示している。調節を増加させる能力が低下している可能性。マイナスレンズは調節要求を増やすため、これをclearしにくい場合は調節刺激への反応低下を疑う。
イ：「調節力」は別の論点である。主な要点は「近点距離0.20 mの逆数で、1/0.20=5 Dである。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「固視検査で片眼遮閉を行う理由」は別の論点である。主な要点は「他眼の影響を除き、評価眼がどの網膜部位を固視に使うかを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「中心固視」は別の論点である。主な要点は「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0049

眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「近見刺激に必要な量より実際の調節反応が少ない状態をlag of accommodationという。」

ア．中心固視

イ．動的検影で調節lag

ウ．偏心固視

エ．push-up法

答え・解説

正答：イ

ア：「中心固視」は別の論点である。主な要点は「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「動的検影で調節lag」の要点を示している。近見刺激に必要な量より実際の調節反応が少ない状態をlag of accommodationという。

ウ：「偏心固視」は別の論点である。主な要点は「弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「push-up法」は別の論点である。主な要点は「視標を徐々に近づけ、明視を維持できなくなった近点から調節力を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0050

眼鏡・調節・色覚 > 固視・調節検査 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「調節力は加齢とともに低下し、近点は遠方へ移動する。」

ア．push-up法

イ．偏心固視

ウ．調節検査を年齢と関連づけて解釈

エ．中心固視

答え・解説

正答：ウ

ア：「push-up法」は別の論点である。主な要点は「視標を徐々に近づけ、明視を維持できなくなった近点から調節力を推定する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「偏心固視」は別の論点である。主な要点は「弱視などでは中心窩以外の網膜点を持続的な固視点として使用することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「調節検査を年齢と関連づけて解釈」の要点を示している。調節力は加齢とともに低下し、近点は遠方へ移動する。

エ：「中心固視」は別の論点である。主な要点は「中心固視では対象像を中心窩に保持し、高い空間分解能を利用する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「固視・調節検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0051眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：標準

「色覚・CFF・変視症検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「石原表は代表的な仮性同色表で、主に赤緑色覚異常のスクリーニングに用いられる。」

ア．D-15検査
イ．仮性同色表の用途
ウ．Amsler検査の実施方法
エ．変視症の訴えから検査

答え・解説 正答：イ

ア：「D-15検査」は別の論点である。主な要点は「D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「仮性同色表の用途」の要点を示している。石原表は代表的な仮性同色表で、主に赤緑色覚異常のスクリーニングに用いられる。
ウ：「Amsler検査の実施方法」は別の論点である。主な要点は「片眼ずつ中心固視させ、周囲線の歪み・欠損・ぼやけを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「変視症の訴えから検査」は別の論点である。主な要点は「直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0052眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「基準色から色相が近い順に色票を配列する。D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。」

ア．CFFの意味
イ．D-15検査
ウ．仮性同色表の用途
エ．CFF測定条件の影響

答え・解説 正答：イ

ア：「CFFの意味」は別の論点である。主な要点は「CFFは点滅光が連続光として融合して見える境界周波数で、時間的分解能を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「D-15検査」の要点を示している。基準色から色相が近い順に色票を配列する。D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。
ウ：「仮性同色表の用途」は別の論点である。主な要点は「石原表は代表的な仮性同色表で、主に赤緑色覚異常のスクリーニングに用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「CFF測定条件の影響」は別の論点である。主な要点は「CFFは刺激条件や被検者状態で変化し得るため、標準化して比較する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0053眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「アノマロスコープは赤緑混色などの等色を利用し、色覚型の診断・分類に用いる。」

ア．アノマロスコープの用途
イ．色覚検査条件
ウ．D-15検査
エ．Amsler検査の実施方法

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「アノマロスコープの用途」の要点を示している。アノマロスコープは赤緑混色などの等色を利用し、色覚型の診断・分類に用いる。
イ：「色覚検査条件」は別の論点である。主な要点は「色覚検査は照明の分光特性や観察条件に影響されるため標準化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「D-15検査」は別の論点である。主な要点は「D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「Amsler検査の実施方法」は別の論点である。主な要点は「片眼ずつ中心固視させ、周囲線の歪み・欠損・ぼやけを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0054眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「色覚検査は照明の分光特性や観察条件に影響されるため標準化が必要である。」

ア．CFFの意味
イ．Amsler gridの用途
ウ．アノマロスコープの用途
エ．色覚検査条件

答え・解説 正答：エ

ア：「CFFの意味」は別の論点である。主な要点は「CFFは点滅光が連続光として融合して見える境界周波数で、時間的分解能を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Amsler gridの用途」は別の論点である。主な要点は「格子の歪みや欠けを患者に示してもらい、黄斑部を中心とした機能異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「アノマロスコープの用途」は別の論点である。主な要点は「アノマロスコープは赤緑混色などの等色を利用し、色覚型の診断・分類に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「色覚検査条件」の要点を示している。色覚検査は照明の分光特性や観察条件に影響されるため標準化が必要である。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0055眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「CFFは点滅光が連続光として融合して見える境界周波数で、時間的分解能を反映する。」

ア．D-15検査
イ．色覚検査条件
ウ．変視症の訴えから検査
エ．CFFの意味

答え・解説 正答：エ

ア：「D-15検査」は別の論点である。主な要点は「D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「色覚検査条件」は別の論点である。主な要点は「色覚検査は照明の分光特性や観察条件に影響されるため標準化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「変視症の訴えから検査」は別の論点である。主な要点は「直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「CFFの意味」の要点を示している。CFFは点滅光が連続光として融合して見える境界周波数で、時間的分解能を反映する。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0056眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「刺激輝度、刺激面積、色、観察条件、疲労などをそろえる。CFFは刺激条件や被検者状態で変化し得るため、標準化して比較する必要がある。」

ア．D-15検査
イ．変視症の訴えから検査
ウ．Amsler検査の実施方法
エ．CFF測定条件の影響

答え・解説 正答：エ

ア：「D-15検査」は別の論点である。主な要点は「D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「変視症の訴えから検査」は別の論点である。主な要点は「直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Amsler検査の実施方法」は別の論点である。主な要点は「片眼ずつ中心固視させ、周囲線の歪み・欠損・ぼやけを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「CFF測定条件の影響」の要点を示している。刺激輝度、刺激面積、色、観察条件、疲労などをそろえる。CFFは刺激条件や被検者状態で変化し得るため、標準化して比較する必要がある。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0057眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「格子の歪みや欠けを患者に示してもらい、黄斑部を中心とした機能異常を評価する。」

ア．色覚検査条件
イ．変視症の訴えから検査
ウ．Amsler gridの用途
エ．後天色覚異常の評価

答え・解説 正答：ウ

ア：「色覚検査条件」は別の論点である。主な要点は「色覚検査は照明の分光特性や観察条件に影響されるため標準化が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「変視症の訴えから検査」は別の論点である。主な要点は「直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「Amsler gridの用途」の要点を示している。格子の歪みや欠けを患者に示してもらい、黄斑部を中心とした機能異常を評価する。
エ：「後天色覚異常の評価」は別の論点である。主な要点は「後天色覚異常は先天異常とパターンが異なり得るため、D-15等を含め総合評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0058眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「片眼ずつ中心固視させ、周囲線の歪み・欠損・ぼやけを確認する。」

ア．CFF測定条件の影響
イ．Amsler検査の実施方法
ウ．仮性同色表の用途
エ．後天色覚異常の評価

答え・解説 正答：イ

ア：「CFF測定条件の影響」は別の論点である。主な要点は「CFFは刺激条件や被検者状態で変化し得るため、標準化して比較する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「Amsler検査の実施方法」の要点を示している。片眼ずつ中心固視させ、周囲線の歪み・欠損・ぼやけを確認する。
ウ：「仮性同色表の用途」は別の論点である。主な要点は「石原表は代表的な仮性同色表で、主に赤緑色覚異常のスクリーニングに用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「後天色覚異常の評価」は別の論点である。主な要点は「後天色覚異常は先天異常とパターンが異なり得るため、D-15等を含め総合評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0059眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：応用

「色覚・CFF・変視症検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。」

ア．変視症の訴えから検査
イ．Amsler gridの用途
ウ．アノマロスコープの用途
エ．CFF測定条件の影響

0060眼鏡・調節・色覚 > 色覚・CFF・変視症検査 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「仮性同色表だけで断定せず、配列検査など複数検査と眼疾患所見を統合する。後天色覚異常は先天異常とパターンが異なり得るため、D-15等を含め総合評価する。」

ア．D-15検査
イ．変視症の訴えから検査
ウ．後天色覚異常の評価
エ．Amsler検査の実施方法

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「変視症の訴えから検査」の要点を示している。直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。
イ：「Amsler gridの用途」は別の論点である。主な要点は「格子の歪みや欠けを患者に示してもらい、黄斑部を中心とした機能異常を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「アノマロスコープの用途」は別の論点である。主な要点は「アノマロスコープは赤緑混色などの等色を利用し、色覚型の診断・分類に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「CFF測定条件の影響」は別の論点である。主な要点は「CFFは刺激条件や被検者状態で変化し得るため、標準化して比較する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「D-15検査」は別の論点である。主な要点は「D-15は色票配列から色識別能力と混同軸を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「変視症の訴えから検査」は別の論点である。主な要点は「直線の歪みは変視症を示唆し、Amsler gridで中心視野の歪みを評価できる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「後天色覚異常の評価」の要点を示している。仮性同色表だけで断定せず、配列検査など複数検査と眼疾患所見を統合する。後天色覚異常は先天異常とパターンが異なり得るため、D-15等を含め総合評価する。
エ：「Amsler検査の実施方法」は別の論点である。主な要点は「片眼ずつ中心固視させ、周囲線の歪み・欠損・ぼやけを確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・CFF・変視症検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0061

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「両眼視は同時視、融像、立体視へと高度な統合機能として捉えられ、立体視は両眼視差を利用した奥行き知覚である。」

ア．抑制所見をWorth 4灯で解釈
イ．Panum融像域
ウ．両眼単一視の段階
エ．異常網膜対応

0062

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「正常網膜対応では左右中心窩は対応点として扱われ、同一注視物を一つとして知覚する基礎となる。」

ア．抑制所見をWorth 4灯で解釈
イ．立体視検査条件
ウ．両眼単一視の段階
エ．正常網膜対応

答え・解説

正答：ウ

ア：「抑制所見をWorth 4灯で解釈」は別の論点である。主な要点は「左右眼入力の色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Panum融像域」は別の論点である。主な要点は「小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「両眼単一視の段階」の要点を示している。両眼視は同時視、融像、立体視へと高度な統合機能として捉えられ、立体視は両眼視差を利用した奥行き知覚である。
エ：「異常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「抑制所見をWorth 4灯で解釈」は別の論点である。主な要点は「左右眼入力の色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「立体視検査条件」は別の論点である。主な要点は「立体視値は視距離や矯正状態、照明、検査方式に影響されるため条件統一が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「両眼単一視の段階」は別の論点である。主な要点は「両眼視は同時視、融像、立体視へと高度な統合機能として捉えられ、立体視は両眼視差を利用した奥行き知覚である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「正常網膜対応」の要点を示している。正常網膜対応では左右中心窩は対応点として扱われ、同一注視物を一つとして知覚する基礎となる。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0063

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」

ア．両眼単一視の段階

イ．Worth 4灯検査の目的

ウ．抑制所見をWorth 4灯で解釈

エ．異常網膜対応

答え・解説

正答：エ

ア：「両眼単一視の段階」は別の論点である。主な要点は「両眼視は同時視、融像、立体視へと高度な統合機能として捉えられ、立体視は両眼視差を利用した奥行き知覚である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「Worth 4灯検査の目的」は別の論点である。主な要点は「赤緑フィルタで左右眼入力を分離し、見える灯数と色から両眼視状態を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「抑制所見をWorth 4灯で解釈」は別の論点である。主な要点は「左右眼入力を色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「異常網膜対応」の要点を示している。恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0064

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「両眼同時視、融像、抑制や複視の有無。赤緑フィルタで左右眼入力を分離し、見える灯数と色から両眼視状態を評価する。」

ア．Worth 4灯検査の目的

イ．Panum融像域

ウ．異常網膜対応

エ．正常網膜対応

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「Worth 4灯検査の目的」の要点を示している。両眼同時視、融像、抑制や複視の有無。赤緑フィルタで左右眼入力を分離し、見える灯数と色から両眼視状態を評価する。

イ：「Panum融像域」は別の論点である。主な要点は「小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「異常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右中心窩は対応点として扱われ、同一注視物を一つとして知覚する基礎となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0065

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「左右眼入力を色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。」

ア．抑制所見をWorth 4灯で解釈

イ．両眼単一視の段階

ウ．Panum融像域

エ．立体視閾値の意味

0066

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「Bagolini線条レンズは自然視に近い条件で両眼の知覚関係を評価しやすい。」

ア．異常網膜対応

イ．両眼視検査を複数組み合わせで解釈

ウ．Bagolini線条レンズの特徴

エ．正常網膜対応

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「抑制所見をWorth 4灯で解釈」の要点を示している。左右眼入力を色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。
イ：「両眼単一視の段階」は別の論点である。主な要点は「両眼視は同時視、融像、立体視へと高度な統合機能として捉えられ、立体視は両眼視差を利用した奥行き知覚である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Panum融像域」は別の論点である。主な要点は「小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「立体視閾値の意味」は別の論点である。主な要点は「ステレオ視力は検出可能な最小視差で表すため、小さい秒角ほど高い立体視能力を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「異常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「両眼視検査を複数組み合わせで解釈」は別の論点である。主な要点は「両眼視機能には段階があり、融像が可能でも精密立体視が低下することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「Bagolini線条レンズの特徴」の要点を示している。Bagolini線条レンズは自然視に近い条件で両眼の知覚関係を評価しやすい。
エ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右中心窩は対応点として扱われ、同一注視物を一つとして知覚する基礎となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0067

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：標準

「両眼視機能・網膜対応・立体視」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「ステレオ視力は検出可能な最小視差で表すため、小さい秒角ほど高い立体視能力を示す。」

ア．抑制所見をWorth 4灯で解釈
イ．異常網膜対応
ウ．Panum融像域
エ．立体視閾値の意味

答え・解説

正答：エ

ア：「抑制所見をWorth 4灯で解釈」は別の論点である。主要点は「左右眼入力の色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「異常網膜対応」は別の論点である。主要点は「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Panum融像域」は別の論点である。主要点は「小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「立体視閾値の意味」の要点を示している。ステレオ視力は検出可能な最小視差で表すため、小さい秒角ほど高い立体視能力を示す。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0068

両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「適切な近用矯正を装用し、規定距離・照明・偏光眼鏡等の条件を守る。立体視値は視距離や矯正状態、照明、検査方式に影響されるため条件統一が必要である。」

ア．異常網膜対応
イ．正常網膜対応
ウ．Panum融像域
エ．立体視検査条件

答え・解説

正答：エ

ア：「異常網膜対応」は別の論点である。主要点は「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「正常網膜対応」は別の論点である。主要点は「正常網膜対応では左右中心窩は対応点として扱われ、同一注視物を一つとして知覚する基礎となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Panum融像域」は別の論点である。主要点は「小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「立体視検査条件」の要点を示している。適切な近用矯正を装用し、規定距離・照明・偏光眼鏡等の条件を守る。立体視値は視距離や矯正状態、照明、検査方式に影響されるため条件統一が必要である。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0069 両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。」

ア．両眼単一視の段階
イ．Worth 4灯検査の目的
ウ．Panum融像域
エ．抑制所見をWorth 4灯で解釈

答え・解説 正答：ウ

ア：「両眼単一視の段階」は別の論点である。主な要点は「両眼視は同時視、融像、立体視へと高度な統合機能として捉えられ、立体視は両眼視差を利用した奥行き知覚である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Worth 4灯検査の目的」は別の論点である。主な要点は「赤緑フィルタで左右眼入力を分離し、見える灯数と色から両眼視状態を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「Panum融像域」の要点を示している。小さな両眼視差はPanum融像域内で融合され、立体視にも利用される。
エ：「抑制所見をWorth 4灯で解釈」は別の論点である。主な要点は「左右眼入力を色で分離した検査で一方眼由来の刺激だけが知覚される場合、他眼入力の抑制を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0070 両眼視・眼位・眼球運動 > 両眼視機能・網膜対応・立体視 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「両眼視機能には段階があり、融像が可能でも精密立体視が低下することがある。」

ア．Bagolini線条レンズの特徴
イ．両眼視検査を複数組み合わせで解釈
ウ．異常網膜対応
エ．正常網膜対応

答え・解説 正答：イ

ア：「Bagolini線条レンズの特徴」は別の論点である。主な要点は「Bagolini線条レンズは自然視に近い条件で両眼の知覚関係を評価しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「両眼視検査を複数組み合わせで解釈」の要点を示している。両眼視機能には段階があり、融像が可能でも精密立体視が低下することがある。
ウ：「異常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「恒常性斜視では複視・混乱を避けるため、網膜対応関係が再編されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右中心窩は対応点として扱われ、同一注視物を一つとして知覚する基礎となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視機能・網膜対応・立体視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0071 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「一眼を遮閉したとき反対眼の再固視運動を観察し、顕在性眼位ずれを検出する。」

ア．cover-uncover testの目的
イ．プリズム度数を理解
ウ．遠見・近見眼位を比較
エ．固視目標が眼位測定へ与える影響

0072 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「両眼の融像を十分に遮断し、総偏位量を明らかにする。交互遮閉で両眼を解離し、斜位成分を含む最大の眼位ずれを測定しやすくする。」

ア．プリズム度数を理解
イ．遠見・近見眼位を比較
ウ．内斜視のプリズム方向
エ．alternate cover testの目的

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「cover-uncover testの目的」の要点を示している。一眼を遮閉したとき反対眼の再固視運動を観察し、顕在性眼位ずれを検出する。
イ：「プリズム度数を理解」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「遠見・近見眼位を比較」は別の論点である。主な要点は「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「固視目標が眼位測定へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「眼位測定には安定した固視が必要で、目標の選択と距離管理が結果の信頼性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「プリズム度数を理解」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「遠見・近見眼位を比較」は別の論点である。主な要点は「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「内斜視のプリズム方向」は別の論点である。主な要点は「内方偏位を中和するにはbase-out prismを用いる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「alternate cover testの目的」の要点を示している。両眼の融像を十分に遮断し、総偏位量を明らかにする。交互遮閉で両眼を解離し、斜位成分を含む最大の眼位ずれを測定しやすくする。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0073 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「外方への再固視運動が起きたことは、遮閉前に右眼が内側へ偏位していたことを示す。」

ア．プリズム度数を理解

イ．プリズムカバーテストの目的

ウ．固視目標が眼位測定へ与える影響

エ．cover testの眼球運動から偏位方向

答え・解説 正答：エ

ア：「プリズム度数を理解」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「プリズムカバーテストの目的」は別の論点である。主な要点は「プリズム度数を増減し、遮閉時の再固視運動が消える点を偏位量として測定する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「固視目標が眼位測定へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「眼位測定には安定した固視が必要で、目標の選択と距離管理が結果の信頼性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「cover testの眼球運動から偏位方向」の要点を示している。外方への再固視運動が起きたことは、遮閉前に右眼が内側へ偏位していたことを示す。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0074 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」

ア．内斜視のプリズム方向

イ．外斜視のプリズム方向

ウ．遠見・近見眼位を比較

エ．cover-uncover testの目的

答え・解説 正答：ウ

ア：「内斜視のプリズム方向」は別の論点である。主な要点は「内方偏位を中和するにはbase-out prismを用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「外斜視のプリズム方向」は別の論点である。主な要点は「外方偏位を中和するにはbase-in prismを用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「遠見・近見眼位を比較」の要点を示している。近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。

エ：「cover-uncover testの目的」は別の論点である。主な要点は「一眼を遮閉したとき反対眼の再固視運動を観察し、顕在性眼位ずれを検出する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0075 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：基礎

「眼位検査・遮閉試験・プリズム」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「プリズム度数を増減し、遮閉時の再固視運動が消える点を偏位量として測定する。」

ア．遠見・近見眼位を比較
イ．プリズムカバーテストの目的
ウ．cover testの眼球運動から偏位方向
エ．固視目標が眼位測定へ与える影響

0076 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「内方偏位を中和するにはbase-out prismを用いる。」

ア．内斜視のプリズム方向
イ．遠見・近見眼位を比較
ウ．simultaneous prism cover testの特徴
エ．alternate cover testの目的

答え・解説 正答：イ

ア：「遠見・近見眼位を比較」は別の論点である。主な要点は「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「プリズムカバーテストの目的」の要点を示している。プリズム度数を増減し、遮閉時の再固視運動が消える点を偏位量として測定する。
ウ：「cover testの眼球運動から偏位方向」は別の論点である。主な要点は「外方への再固視運動が起きたことは、遮閉前に右眼が内側へ偏位していたことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「固視目標が眼位測定へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「眼位測定には安定した固視が必要で、目標の選択と距離管理が結果の信頼性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「内斜視のプリズム方向」の要点を示している。内方偏位を中和するにはbase-out prismを用いる。
イ：「遠見・近見眼位を比較」は別の論点である。主な要点は「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「simultaneous prism cover testの特徴」は別の論点である。主な要点は「同時プリズムカバーテストは小角度斜視でtropia成分を評価するために用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「alternate cover testの目的」は別の論点である。主な要点は「交互遮閉で両眼を解離し、斜位成分を含む最大の眼位ずれを測定しやすくする。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0077 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「外方偏位を中和するにはbase-in prismを用いる。」

ア．遠見・近見眼位を比較
イ．外斜視のプリズム方向
ウ．simultaneous prism cover testの特徴
エ．alternate cover testの目的

答え・解説 正答：イ

ア：「遠見・近見眼位を比較」は別の論点である。主な要点は「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「外斜視のプリズム方向」の要点を示している。外方偏位を中和するにはbase-in prismを用いる。
ウ：「simultaneous prism cover testの特徴」は別の論点である。主な要点は「同時プリズムカバーテストは小角度斜視でtropia成分を評価するために用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「alternate cover testの目的」は別の論点である。主な要点は「交互遮閉で両眼を解離し、斜位成分を含む最大の眼位ずれを測定しやすくする。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0078 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。」

ア．cover-uncover testの目的
イ．プリズム度数を理解
ウ．alternate cover testの目的
エ．cover testの眼球運動から偏位方向

答え・解説 正答：イ

ア：「cover-uncover testの目的」は別の論点である。主な要点は「一眼を遮閉したとき反対眼の再固視運動を観察し、顕在性眼位ずれを検出する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「プリズム度数を理解」の要点を示している。1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。
ウ：「alternate cover testの目的」は別の論点である。主な要点は「交互遮閉で両眼を解離し、斜位成分を含む最大の眼位ずれを測定しやすくする。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「cover testの眼球運動から偏位方向」は別の論点である。主な要点は「外方への再固視運動が起きたことは、遮閉前に右眼が内側へ偏位していたことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0079 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「同時プリズムカバーテストは小角度斜視でtropia成分を評価するために用いられる。」

ア．プリズム度数を理解

イ．遠見・近見眼位を比較

ウ．simultaneous prism cover testの特徴

エ．固視目標が眼位測定へ与える影響

答え・解説 正答：ウ

ア：「プリズム度数を理解」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「遠見・近見眼位を比較」は別の論点である。主な要点は「近見では調節性輻湊が加わるため、遠見と近見で眼位差がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「simultaneous prism cover testの特徴」の要点を示している。同時プリズムカバーテストは小角度斜視でtropia成分を評価するために用いられる。

エ：「固視目標が眼位測定へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「眼位測定には安定した固視が必要で、目標の選択と距離管理が結果の信頼性に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0080 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼位検査・遮閉試験・プリズム | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「年齢に合った明瞭で興味を引く固視目標を用い、注視距離を一定にする。眼位測定には安定した固視が必要で、目標の選択と距離管理が結果の信頼性に影響する。」

ア．プリズム度数を理解

イ．固視目標が眼位測定へ与える影響

ウ．simultaneous prism cover testの特徴

エ．cover-uncover testの目的

答え・解説 正答：イ

ア：「プリズム度数を理解」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるので、5 は5 cmである。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「固視目標が眼位測定へ与える影響」の要点を示している。年齢に合った明瞭で興味を引く固視目標を用い、注視距離を一定にする。眼位測定には安定した固視が必要で、目標の選択と距離管理が結果の信頼性に影響する。

ウ：「simultaneous prism cover testの特徴」は別の論点である。主な要点は「同時プリズムカバーテストは小角度斜視でtropia成分を評価するために用いられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「cover-uncover testの目的」は別の論点である。主な要点は「一眼を遮閉したとき反対眼の再固視運動を観察し、顕在性眼位ずれを検出する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位検査・遮閉試験・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0081 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「versionは両眼が同方向へ動く共同運動である。」

ア．9方向眼位検査の目的
イ．斜筋の垂直作用を評価する眼位
ウ．versionとduction
エ．右外直筋機能を評価する方向

答え・解説 正答：ウ

ア：「9方向眼位検査の目的」は別の論点である。主な要点は「正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「斜筋の垂直作用を評価する眼位」は別の論点である。主な要点は「斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「versionとduction」の要点を示している。versionは両眼が同方向へ動く共同運動である。
エ：「右外直筋機能を評価する方向」は別の論点である。主な要点は「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0082 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。」

ア．9方向眼位検査の目的
イ．smooth pursuit
ウ．versionとduction
エ．saccadeとpursuit

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「9方向眼位検査の目的」の要点を示している。正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。
イ：「smooth pursuit」は別の論点である。主な要点は「追従眼球運動は移動標的像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「versionとduction」は別の論点である。主な要点は「versionは両眼が同方向へ動く共同運動である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「saccadeとpursuit」は別の論点である。主な要点は「サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0083

両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：標準

「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」

ア．saccadeとpursuit

イ．smooth pursuit

ウ．右外直筋機能を評価する方向

エ．Hess chartの原理

0084

両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「右眼を内転させた状態で下方を見る。斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。」

ア．saccadeとpursuit

イ．smooth pursuit

ウ．versionとduction

エ．斜筋の垂直作用を評価する眼位

答え・解説

正答：ウ

ア：「saccadeとpursuit」は別の論点である。主な要点は「サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「smooth pursuit」は別の論点である。主な要点は「追従眼球運動は移動標の像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「右外直筋機能を評価する方向」の要点を示している。右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。

エ：「Hess chartの原理」は別の論点である。主な要点は「Hess screenは両眼を解離しながら各方向の相対的眼位をプロットして麻痺性・拘束性障害を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「saccadeとpursuit」は別の論点である。主な要点は「サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「smooth pursuit」は別の論点である。主な要点は「追従眼球運動は移動標の像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「versionとduction」は別の論点である。主な要点は「versionは両眼が同方向へ動く共同運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「斜筋の垂直作用を評価する眼位」の要点を示している。右眼を内転させた状態で下方を見る。斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0085

両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「Hess screenは両眼を解離しながら各方向の相対的眼位をプロットして麻痺性・拘束性障害を評価する。」

ア．Hess chartの原理
イ．右外直筋機能を評価する方向
ウ．NPC結果を症状と関連づけられる
エ．斜筋の垂直作用を評価する眼位

0086

両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「麻痺眼の運動野は小さくなり、障害筋が働く方向で最大の制限が現れる。」

ア．右外直筋機能を評価する方向
イ．Hess chartで麻痺眼を判定
ウ．斜筋の垂直作用を評価する眼位
エ．9方向眼位検査の目的

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「Hess chartの原理」の要点を示している。Hess screenは両眼を解離しながら各方向の相対的眼位をプロットして麻痺性・拘束性障害を評価する。
イ：「右外直筋機能を評価する方向」は別の論点である。主な要点は「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「NPC結果を症状と関連づけられる」は別の論点である。主な要点は「反復でNPCが後退する場合、近見時にvergenceを維持する能力が不十分な可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「斜筋の垂直作用を評価する眼位」は別の論点である。主な要点は「斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「右外直筋機能を評価する方向」は別の論点である。主な要点は「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「Hess chartで麻痺眼を判定」の要点を示している。麻痺眼の運動野は小さくなり、障害筋が働く方向で最大の制限が現れる。
ウ：「斜筋の垂直作用を評価する眼位」は別の論点である。主な要点は「斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「9方向眼位検査の目的」は別の論点である。主な要点は「正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0087 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。」

ア．右外直筋機能を評価する方向
イ．斜筋の垂直作用を評価する眼位
ウ．saccadeとpursuit
エ．9方向眼位検査の目的

答え・解説 正答：ウ

ア：「右外直筋機能を評価する方向」は別の論点である。主な要点は「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「斜筋の垂直作用を評価する眼位」は別の論点である。主な要点は「斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「saccadeとpursuit」の要点を示している。サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。
エ：「9方向眼位検査の目的」は別の論点である。主な要点は「正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0088 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「smooth pursuit。追従眼球運動は移動標的像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。」

ア．9方向眼位検査の目的
イ．右外直筋機能を評価する方向
ウ．斜筋の垂直作用を評価する眼位
エ．smooth pursuit

答え・解説 正答：エ

ア：「9方向眼位検査の目的」は別の論点である。主な要点は「正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「右外直筋機能を評価する方向」は別の論点である。主な要点は「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「斜筋の垂直作用を評価する眼位」は別の論点である。主な要点は「斜筋の垂直作用は内転位で評価しやすく、上斜筋は内転位で下転作用が明瞭になる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「smooth pursuit」の要点を示している。smooth pursuit。追従眼球運動は移動標的像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0089 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「視標を近づけて両眼単一視を維持できなくなった点をbreakとして記録する。」

ア．NPCの測定終点

イ．右外直筋機能を評価する方向

ウ．saccadeとpursuit

エ．smooth pursuit

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「NPCの測定終点」の要点を示している。視標を近づけて両眼単一視を維持できなくなった点をbreakとして記録する。

イ：「右外直筋機能を評価する方向」は別の論点である。主な要点は「右方視では右外直筋が主に右眼外転を担うため、その機能低下が現れやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「saccadeとpursuit」は別の論点である。主な要点は「サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「smooth pursuit」は別の論点である。主な要点は「追従眼球運動は移動標的像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0090 両眼視・眼位・眼球運動 > 眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「反復でNPCが後退する場合、近見時にvergenceを維持する能力が不十分な可能性がある。」

ア．9方向眼位検査の目的

イ．NPC結果を症状と関連づけられる

ウ．saccadeとpursuit

エ．smooth pursuit

答え・解説 正答：イ

ア：「9方向眼位検査の目的」は別の論点である。主な要点は「正面と8方向の眼位を観察すると、注視方向依存の運動制限や非共同性偏位を把握できる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「NPC結果を症状と関連づけられる」の要点を示している。反復でNPCが後退する場合、近見時にvergenceを維持する能力が不十分な可能性がある。

ウ：「saccadeとpursuit」は別の論点である。主な要点は「サッカードは注視点を急速に切り替える眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「smooth pursuit」は別の論点である。主な要点は「追従眼球運動は移動標的像を中心窩に保つ連続的な眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動・Hess・9方向眼位・輻湊」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0091

前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：標準

「外眼部・前眼部・角膜検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」

ア．光学切片を用いた角膜観察

イ．角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる

ウ．前房炎症所見

エ．細隙灯顕微鏡の基本構造

0092

前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「細いスリット光で光学切片を作る。細い光束を斜めから入れることで角膜の前後面を分離して観察し、病変の深さを把握しやすくなる。」

ア．光学切片を用いた角膜観察

イ．Seidel試験の目的

ウ．前房炎症所見

エ．細隙灯顕微鏡の基本構造

答え・解説

正答：エ

ア：「光学切片を用いた角膜観察」は別の論点である。主な要点は「細い光束を斜めから入れることで角膜の前後面を分離して観察し、病変の深さを把握しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる」は別の論点である。主な要点は「CL関連の上皮障害では装用時間・衛生・フィッティングなどを確認し、感染や重症角膜障害を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「細隙灯顕微鏡の基本構造」の要点を示している。細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「光学切片を用いた角膜観察」の要点を示している。細いスリット光で光学切片を作る。細い光束を斜めから入れることで角膜の前後面を分離して観察し、病変の深さを把握しやすくなる。

イ：「Seidel試験の目的」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0093前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「フルオレセインは正常な角膜上皮では保持されにくいが、上皮欠損部で染色され、青色光下で観察しやすくなる。」

ア．Seidel試験の目的
イ．前房炎症所見
ウ．細隙灯顕微鏡の基本構造
エ．フルオレセイン角膜染色

0094前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」

ア．光学切片を用いた角膜観察
イ．フルオレセイン角膜染色
ウ．前房炎症所見
エ．Seidel試験の目的

答え・解説 正答：エ

ア：「Seidel試験の目的」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「フルオレセイン角膜染色」の要点を示している。フルオレセインは正常な角膜上皮では保持されにくい、上皮欠損部で染色され、青色光下で観察しやすくなる。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「光学切片を用いた角膜観察」は別の論点である。主な要点は「細い光束を斜めから入れることで角膜の前後面を分離して観察し、病変の深さを把握しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「フルオレセイン角膜染色」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインは正常な角膜上皮では保持されにくい、上皮欠損部で染色され、青色光下で観察しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「Seidel試験の目的」の要点を示している。フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0095前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「角膜前面の主経線別曲率を直接測定する基本機器はケラトメータである。」

ア．前房炎症所見
イ．細隙灯顕微鏡の基本構造
ウ．角膜曲率検査の目的
エ．角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる

答え・解説 正答：ウ

ア：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「角膜曲率検査の目的」の要点を示している。角膜前面の主経線別曲率を直接測定する基本機器はケラトメータである。
エ：「角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる」は別の論点である。主な要点は「CL関連の上皮障害では装用時間・衛生・フィッティングなどを確認し、感染や重症角膜障害を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0096前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「パキメトリは角膜厚を測定し、角膜疾患評価や眼圧値の解釈、屈折手術前評価などに用いられる。」

ア．前房炎症所見
イ．Seidel試験の目的
ウ．細隙灯顕微鏡の基本構造
エ．角膜厚測定の用途

答え・解説 正答：エ

ア：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Seidel試験の目的」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「角膜厚測定の用途」の要点を示している。パキメトリは角膜厚を測定し、角膜疾患評価や眼圧値の解釈、屈折手術前評価などに用いられる。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0097前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「角膜内皮は角膜透明性維持に重要で、スペキュラーマイクロスコープで細胞密度・多形性などを評価する。」

ア．角膜内皮検査の目的

イ．前房炎症所見

ウ．細隙灯顕微鏡の基本構造

エ．角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる

0098前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」

ア．前房炎症所見

イ．光学切片を用いた角膜観察

ウ．Seidel試験の目的

エ．角膜曲率検査の目的

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「角膜内皮検査の目的」の要点を示している。角膜内皮は角膜透明性維持に重要で、スペキュラーマイクロスコープで細胞密度・多形性などを評価する。

イ：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる」は別の論点である。主な要点は「CL関連の上皮障害では装用時間・衛生・フィッティングなどを確認し、感染や重症角膜障害を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「前房炎症所見」の要点を示している。前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。

イ：「光学切片を用いた角膜観察」は別の論点である。主な要点は「細い光束を斜めから入れることで角膜の前後面を分離して観察し、病変の深さを把握しやすくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Seidel試験の目的」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「角膜曲率検査の目的」は別の論点である。主な要点は「角膜前面の主経線別曲率を直接測定する基本機器はケラトメータである。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0099前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：応用

「外眼部・前眼部・角膜検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「スリット光で角膜断面を観察すると、混濁の深さや層を推定できる。」

ア．前房炎症所見
イ．Seidel試験の目的
ウ．細隙灯顕微鏡の基本構造
エ．角膜混濁の深さを検査

0100前眼部・眼圧・眼底 > 外眼部・前眼部・角膜検査 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「レンズ装用状況とフィッティングを確認し、角膜所見を医師へ共有する。CL関連の上皮障害では装用時間・衛生・フィッティングなどを確認し、感染や重症角膜障害を除外する必要がある。」

ア．Seidel試験の目的
イ．細隙灯顕微鏡の基本構造
ウ．角膜曲率検査の目的
エ．角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる

答え・解説 正答：エ

ア：「前房炎症所見」は別の論点である。主な要点は「前房細胞は炎症細胞、フレアは血液房水閉門破綻による蛋白増加を反映し、ぶどう膜炎などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Seidel試験の目的」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「角膜混濁の深さを検査」の要点を示している。スリット光で角膜断面を観察すると、混濁の深さや層を推定できる。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「Seidel試験の目的」は別の論点である。主な要点は「フルオレセインで着色した涙液が漏出する房水によって希釈される様子を観察し、創からの漏出を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「細隙灯顕微鏡の基本構造」は別の論点である。主な要点は「細隙灯顕微鏡は照明系と双眼顕微鏡を組み合わせ、角膜・前房・虹彩・水晶体などを拡大観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「角膜曲率検査の目的」は別の論点である。主な要点は「角膜前面の主経線別曲率を直接測定する基本機器はケラトメータである。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「角膜染色所見をコンタクトレンズ装用と関連づけられる」の要点を示している。レンズ装用状況とフィッティングを確認し、角膜所見を医師へ共有する。CL関連の上皮障害では装用時間・衛生・フィッティングなどを確認し、感染や重症角膜障害を除外する必要がある。

総合解説：この問題は「外眼部・前眼部・角膜検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0101前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。」

ア．RAPDを検出する方法
イ．Schirmer試験
ウ．対光反射の求心路と遠心路
エ．涙液層破壊時間

0102前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力による瞳孔反応の変化を観察する。」

ア．対光反射の求心路と遠心路
イ．眼圧値と角膜厚の関係
ウ．非接触眼圧計の特徴
エ．RAPDを検出する方法

答え・解説 正答：ウ

ア：「RAPDを検出する方法」は別の論点である。主な要点は「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力による瞳孔反応の変化を観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Schirmer試験」は別の論点である。主な要点は「濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿润長から涙液分泌を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「対光反射の求心路と遠心路」の要点を示している。光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。
エ：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「眼圧値と角膜厚の関係」は別の論点である。主な要点は「圧平眼圧は真の眼圧だけでなく角膜特性の影響を受けるため、極端な角膜厚では解釈に注意する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「非接触眼圧計の特徴」は別の論点である。主な要点は「非接触式はair puffを用いるため、角膜への測定子接触を必要としない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「RAPDを検出する方法」の要点を示している。左右眼へ交互に光を当て、求心性入力による瞳孔反応の変化を観察する。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0103前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「Goldmann圧平眼圧計は圧平法を利用し、角膜一定面積を平坦化するための力を眼圧へ換算する。」

ア．涙液層破壊時間
イ．閉塞隅角が疑われる所見
ウ．RAPDを検出する方法
エ．Goldmann圧平眼圧計の原理

0104前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「角膜の厚さや生体力学特性が圧平に必要な力へ影響し得るため。圧平眼圧は真の眼圧だけでなく角膜特性の影響を受けるため、極端な角膜厚では解釈に注意する。」

ア．RAPDを検出する方法
イ．Schirmer試験
ウ．涙液層破壊時間
エ．眼圧値と角膜厚の関係

答え・解説 正答：エ

ア：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「閉塞隅角が疑われる所見」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角は急激な眼圧上昇を伴う緊急疾患となり得るため、迅速な医師評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「RAPDを検出する方法」は別の論点である。主な要点は「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力 of 左右差による瞳孔反応の変化を観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「Goldmann圧平眼圧計の原理」の要点を示している。Goldmann圧平眼圧計は圧平法を利用し、角膜一定面積を平坦化するための力を眼圧へ換算する。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「RAPDを検出する方法」は別の論点である。主な要点は「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力 of 左右差による瞳孔反応の変化を観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Schirmer試験」は別の論点である。主な要点は「濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿润長から涙液分泌を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「眼圧値と角膜厚の関係」の要点を示している。角膜の厚さや生体力学特性が圧平に必要な力へ影響し得るため。圧平眼圧は真の眼圧だけでなく角膜特性の影響を受けるため、極端な角膜厚では解釈に注意する。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0105前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「非接触式はair puffを用いるため、角膜への測定子接触を必要としない。」

ア．RAPDを検出する方法
イ．Schirmer試験
ウ．涙液層破壊時間
エ．非接触眼圧計の特徴

答え・解説 正答：エ

ア：「RAPDを検出する方法」は別の論点である。主な要点は「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力による瞳孔反応の変化を観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Schirmer試験」は別の論点である。主な要点は「濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿润長から涙液分泌を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「非接触眼圧計の特徴」の要点を示している。非接触式はair puffを用いるため、角膜への測定子接触を必要としない。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0106前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「角膜内面での全反射のため直接見えにくい隅角を、ゴニオレンズを介して観察する。」

ア．Schirmer試験
イ．隅角鏡検査の目的
ウ．涙液層破壊時間
エ．対光反射の求心路と遠心路

答え・解説 正答：イ

ア：「Schirmer試験」は別の論点である。主な要点は「濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿润長から涙液分泌を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「隅角鏡検査の目的」の要点を示している。角膜内面での全反射のため直接見えにくい隅角を、ゴニオレンズを介して観察する。
ウ：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0107前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：標準

「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「急性閉塞隅角は急激な眼圧上昇を伴う緊急疾患となり得るため、迅速な医師評価が必要である。」

ア．Schirmer試験

イ．閉塞隅角が疑われる所見

ウ．対光反射の求心路と遠心路

エ．涙液層破壊時間

0108前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「涙液分泌量。濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿潤長から涙液分泌を評価する。」

ア．Schirmer試験

イ．対光反射の求心路と遠心路

ウ．眼圧値と角膜厚の関係

エ．非接触眼圧計の特徴

答え・解説 正答：イ

ア：「Schirmer試験」は別の論点である。主な要点は「濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿潤長から涙液分泌を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「閉塞隅角が疑われる所見」の要点を示している。急性閉塞隅角は急激な眼圧上昇を伴う緊急疾患となり得るため、迅速な医師評価が必要である。

ウ：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「Schirmer試験」の要点を示している。涙液分泌量。濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿潤長から涙液分泌を評価する。

イ：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼圧値と角膜厚の関係」は別の論点である。主な要点は「圧平眼圧は真の眼圧だけでなく角膜特性の影響を受けるため、極端な角膜厚では解釈に注意する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「非接触眼圧計の特徴」は別の論点である。主な要点は「非接触式はair puffを用いるため、角膜への測定子接触を必要としない。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0109前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」

ア．対光反射の求心路と遠心路
イ．RAPDを検出する方法
ウ．非接触眼圧計の特徴
エ．涙液層破壊時間

0110前眼部・眼圧・眼底 > 瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「眼球破裂が疑われる場合、眼球への圧迫は内容物脱出を悪化させ得るため接触眼圧測定は避ける。」

ア．RAPDを検出する方法
イ．Schirmer試験
ウ．眼圧測定の禁忌・注意
エ．涙液層破壊時間

答え・解説 正答：エ

ア：「対光反射の求心路と遠心路」は別の論点である。主な要点は「光刺激は視神経を経て中脳へ伝わり、動眼神経副交感線維を介して瞳孔括約筋へ伝達される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「RAPDを検出する方法」は別の論点である。主な要点は「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力による瞳孔反応の変化を観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「非接触眼圧計の特徴」は別の論点である。主な要点は「非接触式はair puffを用いるため、角膜への測定子接触を必要としない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「涙液層破壊時間」の要点を示している。瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「RAPDを検出する方法」は別の論点である。主な要点は「左右眼へ交互に光を当て、求心性入力による瞳孔反応の変化を観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Schirmer試験」は別の論点である。主な要点は「濾紙を下眼瞼に置き、一定時間後の湿润長から涙液分泌を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「眼圧測定の禁忌・注意」の要点を示している。眼球破裂が疑われる場合、眼球への圧迫は内容物脱出を悪化させ得るため接触眼圧測定は避ける。
エ：「涙液層破壊時間」は別の論点である。主な要点は「瞬目後から涙液層に最初のbreakが生じるまでの時間を測定し、涙液層安定性を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔・眼圧・隅角・涙液検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0111前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「直像鏡は高倍率の正立像を得る一方、広範囲の周辺網膜観察には限界がある。」

ア．直像鏡の特徴
イ．視神経乳頭
ウ．眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる
エ．網膜血管の基本観察項目

0112前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「比較的広い眼底範囲を立体的に観察しやすい。双眼倒像鏡は低倍率だが広い視野を得やすく、周辺網膜評価にも適する。」

ア．視神経乳頭
イ．倒像鏡の特徴
ウ．眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる
エ．黄斑部の位置を同定

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「直像鏡の特徴」の要点を示している。直像鏡は高倍率の正立像を得る一方、広範囲の周辺網膜観察には限界がある。
イ：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「倒像鏡の特徴」の要点を示している。比較的広い眼底範囲を立体的に観察しやすい。双眼倒像鏡は低倍率だが広い視野を得やすく、周辺網膜評価にも適する。
ウ：「眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「黄斑部の位置を同定」は別の論点である。主な要点は「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0113前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「瞳孔が広がると光学的観察窓が広がり、特に周辺網膜の評価がしやすくなる。」

ア．視神経乳頭
イ．黄斑部の位置を同定
ウ．網膜血管の基本観察項目
エ．散瞳眼底検査の意義

答え・解説 正答：エ

ア：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「黄斑部の位置を同定」は別の論点である。主な要点は「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「散瞳眼底検査の意義」の要点を示している。瞳孔が広がると光学的観察窓が広がり、特に周辺網膜の評価がしやすくなる。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0114前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」

ア．視神経乳頭
イ．直像鏡の特徴
ウ．倒像鏡の特徴
エ．黄斑部の位置を同定

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「視神経乳頭」の要点を示している。視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。
イ：「直像鏡の特徴」は別の論点である。主な要点は「直像鏡は高倍率の正立像を得る一方、広範囲の周辺網膜観察には限界がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「倒像鏡の特徴」は別の論点である。主な要点は「双眼倒像鏡は低倍率だが広い視野を得やすく、周辺網膜評価にも適する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「黄斑部の位置を同定」は別の論点である。主な要点は「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0115前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：基礎

「眼底検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」

ア．視神経乳頭
イ．黄斑部の位置を同定
ウ．眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる
エ．網膜血管の基本観察項目

0116前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「血管径、走行、動静脈比、交叉部、出血や白斑の有無。網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」

ア．眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる
イ．網膜血管の基本観察項目
ウ．視神経乳頭
エ．黄斑部の位置を同定

答え・解説 正答：イ

ア：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「黄斑部の位置を同定」の要点を示している。黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。
ウ：「眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「網膜血管の基本観察項目」の要点を示している。血管径、走行、動静脈比、交叉部、出血や白斑の有無。網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。
ウ：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「黄斑部の位置を同定」は別の論点である。主な要点は「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0117前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「正常な赤色反射は透明な眼媒体を通った眼底反射であり、欠如・非対称は白内障などの媒体混濁や他病変を示唆する。」

ア．視神経乳頭
イ．赤色反射の意義
ウ．眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる
エ．網膜血管の基本観察項目

0118前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「眼底写真は病変を客観的画像として保存できるため、糖尿病網膜症などの経時比較に有用である。」

ア．視神経乳頭
イ．黄斑部の位置を同定
ウ．眼底写真の利点
エ．網膜血管の基本観察項目

答え・解説 正答：イ

ア：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「赤色反射の意義」の要点を示している。正常な赤色反射は透明な眼媒体を通った眼底反射であり、欠如・非対称は白内障などの媒体混濁や他病変を示唆する。
ウ：「眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる」は別の論点である。主な要点は「急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「黄斑部の位置を同定」は別の論点である。主な要点は「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「眼底写真の利点」の要点を示している。眼底写真は病変を客観的画像として保存できるため、糖尿病網膜症などの経時比較に有用である。
エ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0119前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「超広角撮影は広範囲の網膜を記録でき、末梢病変のスクリーニングや経時比較に有用である。」

ア．視神経乳頭

イ．広角眼底撮影の特徴

ウ．網膜血管の基本観察項目

エ．黄斑部の位置を同定

0120前眼部・眼圧・眼底 > 眼底検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「速やかに医師へ報告し、散瞳下で周辺網膜を十分評価する。急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。」

ア．赤色反射の意義

イ．網膜血管の基本観察項目

ウ．視神経乳頭

エ．眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる

答え・解説 正答：イ

ア：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「広角眼底撮影の特徴」の要点を示している。超広角撮影は広範囲の網膜を記録でき、末梢病変のスクリーニングや経時比較に有用である。

ウ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「黄斑部の位置を同定」は別の論点である。主な要点は「黄斑は視神経乳頭の耳側に位置し、その中央に中心窩がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「赤色反射の意義」は別の論点である。主な要点は「正常な赤色反射は透明な眼媒体を通った眼底反射であり、欠如・非対称は白内障などの媒体混濁や他病変を示唆する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜血管の基本観察項目」は別の論点である。主な要点は「網膜血管の形態と周囲所見は高血圧・糖尿病・血管閉塞などの評価に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視神経乳頭」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は緑内障や視神経疾患評価に重要で、陥凹やrim、出血、色調などを観察する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼底検査所見を緊急性へ結びつけられる」の要点を示している。速やかに医師へ報告し、散瞳下で周辺網膜を十分評価する。急な飛蚊症・光視症は後部硝子体剥離や網膜裂孔・剥離に伴うことがあり、迅速な眼底評価が必要である。

総合解説：この問題は「眼底検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0121

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「静的視野検査は各位置の感度閾値、動的視野検査はisopterなどの境界を求める。」

ア．偽陰性反応

イ．偽陽性反応

ウ．静的視野検査の原理

エ．視野欠損と視路局在

0122

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「動的視野検査では一定条件の視標を移動し、見え始める境界を結んでisopterを作る。」

ア．偽陰性反応

イ．偽陽性反応

ウ．動的視野検査の原理

エ．視野欠損と視路局在

答え・解説

正答：ウ

ア：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「静的視野検査の原理」の要点を示している。静的視野検査は各位置の感度閾値、動的視野検査はisopterなどの境界を求める。

エ：「視野欠損と視路局在」は別の論点である。主な要点は「視交叉後では両眼の同一半視野情報が同側視路に集約されるため、後視路病変で同名性欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「動的視野検査の原理」の要点を示している。動的視野検査では一定条件の視標を移動し、見え始める境界を結んでisopterを作る。

エ：「視野欠損と視路局在」は別の論点である。主な要点は「視交叉後では両眼の同一半視野情報が同側視路に集約されるため、後視路病変で同名性欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0123

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：標準

「動的・静的視野・中心暗点検査」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。「視野計のdBは刺激減衰量を対数表示するため、より高いdB値はより弱い刺激を検出できる、すなわち感度が高いことを示す。」

ア．偽陰性反応

イ．偽陽性反応

ウ．視野感度のdB表示を理解

エ．中心暗点の検査

0124

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。「視神経乳頭には光受容体がないため、視野上では生理的盲点となる。」

ア．偽陽性反応

イ．生理的盲点を視野上で説明

ウ．偽陰性反応

エ．中心暗点の検査

答え・解説

正答：ウ

ア：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「視野感度のdB表示を理解」の要点を示している。視野計のdBは刺激減衰量を対数表示するため、より高いdB値はより弱い刺激を検出できる、すなわち感度が高いことを示す。

エ：「中心暗点の検査」は別の論点である。主な要点は「中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「生理的盲点を視野上で説明」の要点を示している。視神経乳頭には光受容体がないため、視野上では生理的盲点となる。

ウ：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「中心暗点の検査」は別の論点である。主な要点は「中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0125

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」

ア．生理的盲点を視野上で説明

イ．視野欠損と視路局在

ウ．偽陽性反応

エ．視野感度のdB表示を理解

0126

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」

ア．偽陰性反応

イ．生理的盲点を視野上で説明

ウ．中心暗点の検査

エ．視野感度のdB表示を理解

答え・解説

正答：ウ

ア：「生理的盲点を視野上で説明」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭には光受容体がないため、視野上では生理的盲点となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「視野欠損と視路局在」は別の論点である。主な要点は「視交叉後では両眼の同一半視野情報が同側視路に集約されるため、後視路病変で同名性欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「偽陽性反応」の要点を示している。偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。
エ：「視野感度のdB表示を理解」は別の論点である。主な要点は「視野計のdBは刺激減衰量を対数表示するため、より高いdB値はより弱い刺激を検出できる、すなわち感度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「偽陰性反応」の要点を示している。偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。
イ：「生理的盲点を視野上で説明」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭には光受容体がないため、視野上では生理的盲点となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「中心暗点の検査」は別の論点である。主な要点は「中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「視野感度のdB表示を理解」は別の論点である。主な要点は「視野計のdBは刺激減衰量を対数表示するため、より高いdB値はより弱い刺激を検出できる、すなわち感度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0127

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「視野検査は中心固視を基準に各刺激位置を決めるため、固視ずれは空間的誤差を生む。」

ア．偽陰性反応

イ．偽陽性反応

ウ．視野感度のdB表示を理解

エ．固視不良が視野検査へ与える影響

0128

視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「中心部を密に測定する静的視野検査やAmsler grid。中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。」

ア．視野欠損と視路局在

イ．中心暗点の検査

ウ．偽陰性反応

エ．偽陽性反応

答え・解説

正答：エ

ア：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視野感度のdB表示を理解」は別の論点である。主な要点は「視野計のdBは刺激減衰量を対数表示するため、より高いdB値はより弱い刺激を検出できる、すなわち感度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「固視不良が視野検査へ与える影響」の要点を示している。視野検査は中心固視を基準に各刺激位置を決めるため、固視ずれは空間的誤差を生む。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「視野欠損と視路局在」は別の論点である。主な要点は「視交叉後では両眼の同一半視野情報が同側視路に集約されるため、後視路病変で同名性欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「中心暗点の検査」の要点を示している。中心部を密に測定する静的視野検査やAmsler grid。中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。

ウ：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0129 視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「視交叉後では両眼の同一半視野情報が同側視路に集約されるため、後視路病変で同名性欠損を生じる。」

ア．視野欠損と視路局在

イ．中心暗点の検査

ウ．偽陽性反応

エ．偽陰性反応

0130 視野・画像・電気生理 > 動的・静的視野・中心暗点検査 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「検査方式や条件が変わると感度分布の比較が難しくなるため、経時評価では標準化が重要である。」

ア．偽陰性反応

イ．偽陽性反応

ウ．経時視野比較の条件

エ．中心暗点の検査

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「視野欠損と視路局在」の要点を示している。視交叉後では両眼の同一半視野情報が同側視路に集約されるため、後視路病変で同名性欠損を生じる。

イ：「中心暗点の検査」は別の論点である。主な要点は「中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「偽陰性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陰性は既知の閾値より明るい刺激にも反応しないことで、疲労・注意・高度障害などの影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「偽陽性反応」は別の論点である。主な要点は「偽陽性は実刺激がない、または検出不能な条件で反応することで生じ、結果を実際より良好に見せることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「経時視野比較の条件」の要点を示している。検査方式や条件が変わると感度分布の比較が難しくなるため、経時評価では標準化が重要である。

エ：「中心暗点の検査」は別の論点である。主な要点は「中心暗点は黄斑・視神経疾患などでみられ、中心数度を高密度に評価する検査が有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「動的・静的視野・中心暗点検査」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0131

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：応用

「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「OCTは低コヒーレンス光の干渉から反射位置と強度を求め、高分解能断層像を作成する。」

ア．OCTの基本原理
イ．眼軸長測定の用途
ウ．FAFの信号源
エ．B-scan超音波の適応

0132

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「A-scanは1点の深さ方向反射プロファイルで、これを横方向に並べるとB-scan断層像となる。」

ア．眼軸長測定の用途
イ．FAFの信号源
ウ．OCTのA-scanとB-scan
エ．OCTアーチファクト

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「OCTの基本原理」の要点を示している。OCTは低コヒーレンス光の干渉から反射位置と強度を求め、高分解能断層像を作成する。
イ：「眼軸長測定の用途」は別の論点である。主な要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「FAFの信号源」は別の論点である。主な要点は「短波長FAFでは主にRPE内のリポフスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「B-scan超音波の適応」は別の論点である。主な要点は「超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「眼軸長測定の用途」は別の論点である。主な要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「FAFの信号源」は別の論点である。主な要点は「短波長FAFでは主にRPE内のリポフスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「OCTのA-scanとB-scan」の要点を示している。A-scanは1点の深さ方向反射プロファイルで、これを横方向に並べるとB-scan断層像となる。
エ：「OCTアーチファクト」は別の論点である。主な要点は「OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0133

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。」

ア．FAFの信号源

イ．眼軸長測定の利用

ウ．OCTアーチファクト

エ．B-scan超音波の適応

0134

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「OCTAは移動する赤血球由来の信号変化を利用し、深さ別の血管構造を非侵襲的に表示する。」

ア．OCTAの特徴

イ．眼軸長測定の利用

ウ．FAFの信号源

エ．B-scan超音波の適応

答え・解説

正答：ウ

ア：「FAFの信号源」は別の論点である。主な要点は「短波長FAFでは主にRPE内のリポフスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「眼軸長測定の利用」は別の論点である。主な要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「OCTアーチファクト」の要点を示している。OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。
エ：「B-scan超音波の適応」は別の論点である。主な要点は「超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「OCTAの特徴」の要点を示している。OCTAは移動する赤血球由来の信号変化を利用し、深さ別の血管構造を非侵襲的に表示する。
イ：「眼軸長測定の利用」は別の論点である。主な要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「FAFの信号源」は別の論点である。主な要点は「短波長FAFでは主にRPE内のリポフスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「B-scan超音波の適応」は別の論点である。主な要点は「超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0135

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「OCTAは時間的信号変化を血流として検出するため、眼球運動も偽信号の原因となる。」

ア．OCTAアーチファクトの原因
イ．眼軸長測定の用途
ウ．FAFの信号源
エ．B-scan超音波の適応

0136

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「網膜色素上皮のリボスチン関連自家蛍光。短波長FAFでは主にRPE内のリボスチン由来信号
を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」

ア．FAFの信号源
イ．眼底写真とOCT
ウ．OCTアーチファクト
エ．OCTのA-scanとB-scan

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「OCTAアーチファクトの原因」の要点を示している。OCTAは時間的信号変化を血流として検出するため、眼球運動も偽信号の原因となる。
イ：「眼軸長測定の用途」は別の論点である。主な要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「FAFの信号源」は別の論点である。主な要点は「短波長FAFでは主にRPE内のリボスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「B-scan超音波の適応」は別の論点である。主な要点は「超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「FAFの信号源」の要点を示している。網膜色素上皮のリボスチン関連自家蛍光。短波長FAFでは主にRPE内のリボスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。
イ：「眼底写真とOCT」は別の論点である。主な要点は「両者は相補的で、眼底写真は色調・広がり、OCTは層構造・厚み・液体貯留などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「OCTアーチファクト」は別の論点である。主な要点は「OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1点の深さ方向反射プロファイルで、これを横方向に並べるとB-scan断層像となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0137

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「両者は相補的で、眼底写真は色調・広がり、OCTは層構造・厚み・液体貯留などを評価する。」

ア．FAFの信号源

イ．B-scan超音波の適応

ウ．眼軸長測定の使用

エ．眼底写真とOCT

0138

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。」

ア．OCTアーチファクト

イ．B-scan超音波の適応

ウ．眼軸長測定の使用

エ．眼底写真とOCT

答え・解説

正答：エ

ア：「FAFの信号源」は別の論点である。主要点は「短波長FAFでは主にRPE内のリポフスチン由来信号を利用し、RPE代謝状態の評価に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「B-scan超音波の適応」は別の論点である。主要点は「超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼軸長測定の使用」は別の論点である。主要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼底写真とOCT」の要点を示している。両者は相補的で、眼底写真は色調・広がり、OCTは層構造・厚み・液体貯留などを評価する。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「OCTアーチファクト」は別の論点である。主要点は「OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「B-scan超音波の適応」の要点を示している。超音波は光学媒体混濁の影響を受けにくく、網膜剥離や硝子体病変などの後眼部構造評価に有用である。

ウ：「眼軸長測定の使用」は別の論点である。主要点は「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「眼底写真とOCT」は別の論点である。主要点は「両者は相補的で、眼底写真は色調・広がり、OCTは層構造・厚み・液体貯留などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0139

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：標準

「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。」

ア．OCTアーチファクト
イ．OCTのA-scanとB-scan
ウ．眼軸長測定の用途
エ．OCTAアーチファクトの原因

0140

視野・画像・電気生理 > OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「眼軸長を実際より短く測定する。角膜を圧迫すると前房が浅くなり、測定される眼軸長が短くなる方向の誤差が生じ得る。」

ア．接触A-scanの測定誤差
イ．OCTアーチファクト
ウ．眼底写真とOCT
エ．OCTAアーチファクトの原因

答え・解説

正答：ウ

ア：「OCTアーチファクト」は別の論点である。主な要点は「OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「OCTのA-scanとB-scan」は別の論点である。主な要点は「A-scanは1点の深さ方向反射プロファイルで、これを横方向に並べるとB-scan断層像となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「眼軸長測定の用途」の要点を示している。眼内レンズ度数計算には眼軸長、角膜曲率などの正確な生体計測が必要である。
エ：「OCTAアーチファクトの原因」は別の論点である。主な要点は「OCTAは時間的信号変化を血流として検出するため、眼球運動も偽信号の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「接触A-scanの測定誤差」の要点を示している。眼軸長を実際より短く測定する。角膜を圧迫すると前房が浅くなり、測定される眼軸長が短くなる方向の誤差が生じ得る。
イ：「OCTアーチファクト」は別の論点である。主な要点は「OCTの厚み解析は自動セグメンテーションに依存し、病変や低画質で境界認識誤差が起こり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「眼底写真とOCT」は別の論点である。主な要点は「両者は相補的で、眼底写真は色調・広がり、OCTは層構造・厚み・液体貯留などを評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「OCTAアーチファクトの原因」は別の論点である。主な要点は「OCTAは時間的信号変化を血流として検出するため、眼球運動も偽信号の原因となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「OCT・OCTA・眼底撮影・FAF・超音波・眼軸長」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0141

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどこか。
「全視野ERGは網膜の広い範囲の機能を電気生理学的に評価する。」

ア．全視野ERGの評価対象
イ．OKNの誘発方法と波形
ウ．EOGのlight peakとdark trough
エ．pattern VEPの検査条件

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「全視野ERGの評価対象」の要点を示している。全視野ERGは網膜の広い範囲の機能を電気生理学的に評価する。
イ：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNIは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「EOGのlight peakとdark trough」は別の論点である。主な要点は「暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「pattern VEPの検査条件」は別の論点である。主な要点は「パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ぼけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0142

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「a波は初期負成分で光受容体由来、b波は主にON双極細胞とMüller細胞関連の内網膜応答を反映する。」

ア．OKNの誘発方法と波形
イ．ERGのa波とb波
ウ．VEPの評価対象
エ．pattern VEPの検査条件

答え・解説

正答：イ

ア：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNIは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「ERGのa波とb波」の要点を示している。a波は初期負成分で光受容体由来、b波は主にON双極細胞とMüller細胞関連の内網膜応答を反映する。
ウ：「VEPの評価対象」は別の論点である。主な要点は「VEPIは視覚刺激に対して後頭部で記録される誘発電位で、視神経・視路・視覚皮質の機能評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「pattern VEPの検査条件」は別の論点である。主な要点は「パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ぼけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0143

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。」

ア．VEPの評価対象

イ．OKNの誘発方法と波形

ウ．暗順応ERGと明順応ERG

エ．EOGのlight peakとdark trough

答え・解説

正答：ウ

ア：「VEPの評価対象」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対して後頭部で記録される誘発電位で、視神経・視路・視覚皮質の機能評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「暗順応ERGと明順応ERG」の要点を示している。暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。

エ：「EOGのlight peakとdark trough」は別の論点である。主な要点は「暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0144

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「視神経から後頭葉視覚野までの視覚伝導。VEPは視覚刺激に対して後頭部で記録される誘発電位で、視神経・視路・視覚皮質の機能評価に用いる。」

ア．VEPの評価対象

イ．暗順応ERGと明順応ERG

ウ．EOGのlight peakとdark trough

エ．OKNの誘発方法と波形

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「VEPの評価対象」の要点を示している。視神経から後頭葉視覚野までの視覚伝導。VEPは視覚刺激に対して後頭部で記録される誘発電位で、視神経・視路・視覚皮質の機能評価に用いる。

イ：「暗順応ERGと明順応ERG」は別の論点である。主な要点は「暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「EOGのlight peakとdark trough」は別の論点である。主な要点は「暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0145

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ばけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。」

ア．EOGの評価対象

イ．OKNの誘発方法と波形

ウ．外眼筋EMGの役割

エ．pattern VEPの検査条件

0146

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「EOGは眼球のstanding potentialの明暗変化を利用し、RPEと外網膜機能を間接的に評価する。」

ア．pattern VEPの検査条件

イ．EOGの評価対象

ウ．OKNの誘発方法と波形

エ．暗順応ERGと明順応ERG

答え・解説

正答：エ

ア：「EOGの評価対象」は別の論点である。主な要点は「EOGは眼球のstanding potentialの明暗変化を利用し、RPEと外網膜機能を間接的に評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「外眼筋EMGの役割」は別の論点である。主な要点は「EMGは筋活動電位を記録し、外眼筋麻痺や神経筋接合部・筋疾患の評価を補助することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「pattern VEPの検査条件」の要点を示している。パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ばけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「pattern VEPの検査条件」は別の論点である。主な要点は「パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ばけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「EOGの評価対象」の要点を示している。EOGは眼球のstanding potentialの明暗変化を利用し、RPEと外網膜機能を間接的に評価する。

ウ：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「暗順応ERGと明順応ERG」は別の論点である。主な要点は「暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0147

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：標準

「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどこか。

「暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。」

ア．EOGのlight peakとdark trough

イ．pattern VEPの検査条件

ウ．VEPの評価対象

エ．暗順応ERGと明順応ERG

0148

視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「角膜側が正、網膜側が負の眼球の電位差を利用し、眼球回転による電位変化を皮膚電極で記録する。眼球にはcorneo-retinal standing potentialがあり、左右や上下への眼球運動で周囲電極間の電位差が変化する。」

ア．ENGの原理

イ．EOGのlight peakとdark trough

ウ．暗順応ERGと明順応ERG

エ．OKNの誘発方法と波形

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「EOGのlight peakとdark trough」の要点を示している。暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。

イ：「pattern VEPの検査条件」は別の論点である。主な要点は「パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ばけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「VEPの評価対象」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対して後頭部で記録される誘発電位で、視神経・視路・視覚皮質の機能評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「暗順応ERGと明順応ERG」は別の論点である。主な要点は「暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ENGの原理」の要点を示している。角膜側が正、網膜側が負の眼球の電位差を利用し、眼球回転による電位変化を皮膚電極で記録する。眼球にはcorneo-retinal standing potentialがあり、左右や上下への眼球運動で周囲電極間の電位差が変化する。

イ：「EOGのlight peakとdark trough」は別の論点である。主な要点は「暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「暗順応ERGと明順応ERG」は別の論点である。主な要点は「暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0149 視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」

ア．OKNの誘発方法と波形
イ．全視野ERGの評価対象
ウ．暗順応ERGと明順応ERG
エ．VEPの評価対象

0150 視野・画像・電気生理 > ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「EMGは筋活動電位を記録し、外眼筋麻痺や神経筋接合部・筋疾患の評価を補助することがある。」

ア．OKNの誘発方法と波形
イ．pattern VEPの検査条件
ウ．EOGのlight peakとdark trough
エ．外眼筋EMGの役割

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「OKNの誘発方法と波形」の要点を示している。OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。
イ：「全視野ERGの評価対象」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGは網膜の広い範囲の機能を電気生理学的に評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「暗順応ERGと明順応ERG」は別の論点である。主な要点は「暗順応では杆体応答、明順応では錐体応答を強調して記録できる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「VEPの評価対象」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対して後頭部で記録される誘発電位で、視神経・視路・視覚皮質の機能評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説 正答：エ

ア：「OKNの誘発方法と波形」は別の論点である。主な要点は「OKNは連続移動する視覚刺激に対して、追従性緩徐相とリセット急速相からなる眼振を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「pattern VEPの検査条件」は別の論点である。主な要点は「パターン刺激を明瞭に見る必要があるため、屈折ばけや固視不良、媒体混濁はVEP波形に影響する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「EOGのlight peakとdark trough」は別の論点である。主な要点は「暗順応中のdark troughと明順応後のlight peakの振幅比を標準EOG ratioとして評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「外眼筋EMGの役割」の要点を示している。EMGは筋活動電位を記録し、外眼筋麻痺や神経筋接合部・筋疾患の評価を補助することがある。

総合解説：この問題は「ERG・VEP・EOG・ENG・OKN・EMG」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。